

男女共同参画に関する施策の実施状況

基本方向1

あらゆる分野における男女共同参画の推進

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	1	政策や方針決定への女性の参画		
主な取組	1	市政等に関わる政策・方針の立案・決定過程への女性の参画拡大		
取組の具体的内容	ジェンダー・ギャップ指数や女性の活躍推進に関する情報を市民に発信し、政治や地方自治への関心を高めるとともに、市の政策・方針の立案・決定過程への女性の参画の重要性について啓発します			
担当室課	人権政策室		計画推進の指標番号	1・2・3
目標	項目		数値等	
	女性の活躍推進に関する情報の発信		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における前年度からの増減理由				
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) ジェンダー・ギャップ指数や女性の活躍推進に関する情報をホームページに掲載し、情報提供を行った。新規採用職員研修や事業者向け出前講座でジェンダー・ギャップ指数に関する講義を行い、日本の現状と課題、あらゆる分野における女性の参画の重要性について啓発を行った。			
	(取組の効果と課題) ジェンダーギャップに関する日本の現状について理解を深めることができた。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き機会を捉えて女性の活躍推進に関する啓発を実施していく。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	1	政策や方針決定への女性の参画		
主な取組	1	市政等に関わる政策・方針の立案・決定過程への女性の参画拡大		
取組の具体的内容	女性職員の活躍を推進するため、働きやすい職場づくりを進めるとともに、役職者・管理職への登用を積極的に進めます			
担当室課	人事室		計画推進の指標番号	1
目標	項目		数値等	
	管理的地位(課長代理級以上)に占める女性職員の割合		30%以上	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	25.5%	25.8%	－	－
実績値における前年度からの増減理由	役職者・管理職への登用を積極的に進めたことにより増加につながりました。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 適性・経験を生かせる職場や多様な知識・経験を身に付けることができる職場への配置を進めるとともに、役職者・管理職への登用を積極的に進めました。			
	(取組の効果と課題) 引き続き特定事業主行動計画に定めるワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組を進めながら、女性職員のキャリア支援を行い、管理職への登用を促進する必要があります。			
取組に対する事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	管理職として必要なマネジメント力を強化する研修を実施し、各職階に応じた業務内容の理解を深めます。また、意欲を持って主体的に業務に取り組み、能力を最大限に発揮することができるよう、ワーク・ライフ・バランスの推進を始めたとした環境整備に努めます。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	1	政策や方針決定への女性の参画		
主な取組	1	市政等に関わる政策・方針の立案・決定過程への女性の参画拡大		
取組の具体的内容	女性職員が職場で活躍できる意識向上となる研修等を開催します			
担当室課	人事室		計画推進の指標番号	1
目標	項目		数値等	
	開催回数		1回/年度	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1回	1回	－	－
実績値における前年度からの増減理由				
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 個々の業務都合に合わせて受講が可能な動画配信による研修を実施することにより、より多くの職員が効果的に受講ができる環境を整えました。			
	(取組の効果と課題) 引き続き、効果的な研修を実施することで、ワーク・ライフ・バランス実現や、全ての職員が活躍できる職場環境づくりに対する、職員一人ひとりの意識向上を図ります。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	法改正や社会情勢の変化等に対応しながら研修内容を検討します。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	1	政策や方針決定への女性の参画		
主な取組	1	市政等に関わる政策・方針の立案・決定過程への女性の参画拡大		
取組の具体的内容	女性教職員の管理職登用を促進するため、長期的な視野で計画的に候補者を育成し、取組を進めます			
担当室課	教職員課		計画推進の指標番号	1
目標	項目		数値等	
	女性管理職の登用率		35%以上	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	校長 42.6% 教頭 29.6% 管理職全体 36.1%	校長 40.7% 教頭 31.5% 管理職全体 36.1%	－	－
実績値における 前年度からの増減理由	令和5年度の女性管理職の登用率は、令和4年度と同数となり、目標値の35%を上回っている。 令和4年度末退職管理職のうち8名が女性管理職であったが、4名が暫定再任用校長として任用され、4名の新任管理職を配置したことにより、前年度と同数となり、これまでの目標値の35%を上回っている。			
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 教職員の年齢構成上、管理職の担い手が全体的に減少しているが、各校において母性保護や育児に関する諸制度の周知を図り、女性が働きやすい職場環境の整備に努めたほか、女性管理職候補の積極的な育成を、人事ヒアリングなどを通して各校に啓発した。			
	(取組の効果と課題) 女性が働きやすい職場環境が整備されてきているほか、首席・指導教諭への女性登用が増加する傾向にあり、計画的な女性管理職候補に育成が進んでいる。引き続き、女性管理職候補の擁立に向け、職場環境の整備や意識の向上に取り組んでいく。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	女性教職員の管理職登用率が目標値に達するように、引き続き、女性が働きやすい職場環境の整備に努めるとともに、長期的な視野で計画的に管理職候補を育成し、校長、教頭だけでなく教育委員会事務局へ割愛する指導主事も含めて、積極的な受験を促していく。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	1	政策や方針決定への女性の参画		
主な取組	2	市審議会等委員への女性の参画拡大		
取組の具体的内容	審議会等における女性の参画状況を調査し、女性委員が少ない審議会を所管する担当室課へ働きかけを行い、審議会等委員への女性の参画を推進します			
担当室課	企画財政室		計画推進の指標番号	2・3
目標	項目		数値等	
	①審議会等委員における女性の割合 ②女性委員がいない審議会等の割合		①40%～60% ②解消する	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	①30.1% ②7.9%	①32.2% ②6.9%	—	—
実績値における 前年度からの増減理由	①女性委員が増加したため。 ②女性のいる審議会等が増加したため。			
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 令和5年度当初に、女性委員の積極的な選任に努めるよう各室課に通知を行った。また、審議会等委員における女性の参画状況を各室課に照会し、「吹田市男女共同参画推進条例」等に基づき、市が自ら率先して積極的な格差是正に努めるよう依頼を行うとともに、特に女性の参画割合が低い審議会等については、女性委員の参画率向上のための今後の方策を検討した。			
	(取組の効果と課題) 特定の専門的な分野における審議会等では、委員に専門的な見地による助言、提言等を求めた結果が男性のみの委員構成に至ったものがある。分野によっては、候補となる人材に占める女性の割合が低いこともあると考えられ、女性のいない審議会等が存在している。			
取組に対する 事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も引き続き、審議会等委員における女性の参画状況を各室課に照会し、「吹田市男女共同参画推進条例」等に基づき、市が自ら率先して積極的な格差是正に努め、男女双方の意見を反映できる審議会等となるよう依頼を行う。また、照会時に、女性委員がいない場合のみ記入していた理由及び今後の方策について、女性の参画割合が低い審議会等についても記入対象とすることで、より多くの室課からの意見を集約し今後の検討の参考とする。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	1	政策や方針決定への女性の参画		
主な取組	2	市審議会等委員への女性の参画拡大		
取組の具体的内容	審議会等における女性の参画状況を調査し、女性委員が少ない審議会を所管する担当室課へ働きかけを行い、審議会等委員への女性の参画を推進します			
担当室課	人権政策室		計画推進の指標番号	2・3
目標	項目		数値等	
	審議会等委員における女性の割合		40%～60%	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	30.1%	32.2%	－	－
実績値における前年度からの増減理由	審議会を所管する各室課に個別のヒアリングを実施したこと等により、女性委員の積極的な選任について意識付けを行うことができたと考えられる。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 行政委員会や審議会等における女性の割合について調査を実施し、結果を公表した。各室課へすいた第5次男女共同参画プランの目標値と令和5年度の現状値を通知するとともに、女性委員の積極的な選任に努めるよう周知を図った。			
	(取組の効果と課題) 女性委員を積極的に選任することについて意識付けが図られてきているが、各専門分野から委員の推薦を受けている審議会等では、推薦団体内の女性割合自体が低い場合もあることから、様々な分野において女性の参画拡大が進むよう意識啓発を行っていく必要がある。			
取組に対する事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	あらゆる分野における女性の参画の重要性について啓発を行う。審議会等における女性の参画状況の調査結果に基づき、女性委員の割合が少ない審議会等を所管する担当室課に対して働きかけを行う。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	2	就労における男女平等		
主な取組	1	事業所における女性活躍の推進		
取組の具体的内容	事業所に対して、誰もが能力を発揮することができるよう女性活躍推進に関する啓発や情報提供に努めます			
担当室課	人権政策室		計画推進の指標番号	5
目標	項目		数値等	
	女性活躍推進に関する情報の発信		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 女性活躍推進に関する情報をホームページに掲載し、情報提供を行った。			
	(取組の効果と課題) 事業所に対して直接働きかけを行う機会を設けることができなかった。			
取組に対する 事業の評価	C	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	事業所に向けた啓発の実施方法を検討する必要がある。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	2	就労における男女平等		
主な取組	1	事業所における女性活躍の推進		
取組の具体的内容	事業所に対して、誰もが能力を発揮することができるよう女性活躍推進に関する啓発や情報提供に努めます			
担当室課	地域経済振興室		計画推進の指標番号	5
目標	項目		数値等	
	セミナーの開催		1回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	みんなで学ぶワークルールセミナー「女性の活躍推進」参加者5名	みんなで学ぶワークルールセミナー「非正規雇用労働の現状と課題」参加者10名	－	－
実績値における前年度からの増減理由				
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) みんなで学ぶワークルールセミナーにて共催である高槻市で「女性活躍推進」に関するセミナーを開催。			
	(取組の効果と課題) 今後もセミナー等を通じて、女性活躍推進に関する啓発や情報提供を実施していく。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も引き続きセミナー等を通じて啓発や情報提供を実施していく。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	2	就労における男女平等		
主な取組	2	女性の就労の支援と能力開発の支援		
取組の具体的内容	JOBナビすいたにおいて、女性が求職活動を実施する際に必要な情報資料を提供します			
担当室課	地域経済振興室		計画推進の指標番号	5
目標	項目		数値等	
	女性が求職活動を実施する際の必要な就労支援		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 吹田市無料職業紹介所において、就職情報資料提供や就労支援を行った。			
	(取組の効果と課題) JOBナビすいた及び吹田市無料職業紹介所において、就職情報資料提供や就労支援を行っており、相談から就業先のあっせんまで、実施できている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も引き続き就職情報資料提供や就労支援を実施していく。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	2	就労における男女平等		
主な取組	2	女性の就労の支援と能力開発の支援		
取組の具体的内容	安心して働くことができる職場環境の形成に向けた知識と理解を深めるため、事業所に対して労働問題全般にわたる情報を提供します			
担当室課	地域経済振興室		計画推進の指標番号	5
目標	項目		数値等	
	セミナーの開催		1回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	みんなで学ぶワークルールセミナー「働き方改革とダイバーシティ」参加者7名	みんなで学ぶワークルールセミナー「働き方改革の取組事例」参加者4名	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) みんなで学ぶワークルールセミナーにて「働き方改革」をテーマにセミナーを開催。			
	(取組の効果と課題) 働き方改革の取組を推進することが職場環境の改善に繋がることから、市民や事業者が参加できるセミナーの開催は重要であり、今後も引き続き啓発を実施していく。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も引き続きセミナー等を通じて啓発や情報提供を実施していく。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	2	就労における男女平等		
主な取組	2	女性の就労の支援と能力開発の支援		
取組の具体的内容	労働相談において、多様化、複雑化する相談事案に対応します			
担当室課	地域経済振興室		計画推進の指標番号	5
目標	項目		数値等	
	多様化・複雑化する相談事案への対応		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 職場における健全な労使関係の確立、労働福祉の推進を図ることを目的として労働相談(第2水曜日に弁護士、第1・3・4・5水曜日に社会保険労務士による相談)を実施。			
	(取組の効果と課題) 解雇、賃金未払い、セクハラ、社会保険制度全般や労働災害に関すること等、様々な相談を受けている。問題解決に向けての今後取組むべき内容や課題整理に役立ったという声が利用者から多く寄せられている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も引き続き労働相談を実施していく。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	2	就労における男女平等		
主な取組	2	女性の就労の支援と能力開発の支援		
取組の具体的内容	女性対象に再就職等、就労についての講座を開催します。また、在職者の能力向上のための講座を開催します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	4
目標	項目		数値等	
	対象講座開催数		5講座	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	5講座	3講座	－	－
実績値における前年度からの増減理由	1つの講座企画に要する時間を十分に確保するため、全体の講座数を見直した結果、再就職講座は実施せず、また、在宅ワーク講座の回数を減らしたため。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 仕事と子育てを両立するためのスキルアップ講座と、自分らしい働き方を考える在宅ワークに関する講座を実施した。			
	(取組の効果と課題) 人に助けを求めるスキルやタイムマネジメントスキルを身に付ける機会を提供できた。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	対象者が知りたい内容を検討し、引き続き実施する。働き続けるために必要な情報を提供する。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	2	就労における男女平等		
主な取組	2	女性の就労の支援と能力開発の支援		
取組の具体的内容	若年層への職業意識、職業知識の啓発のためのキャリア教育や、様々な分野の職業への関心を高めるため、講座や企業での職業体験等の学習機会を設けます			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	様々な職業選択の支援につながる講座		1講座	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2講座	2講座	－	－
実績値における前年度からの増減理由				
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 女子の理工系分野への進路選択を支援することを目的として、小学生対象の科学講座と、中高生対象の進路選択に関する講座を実施した。			
	(取組の効果と課題) 小学生対象講座では保護者への啓発も実施した。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	子と親の両方に啓発するため、引き続き実施する。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	2	就労における男女平等		
主な取組	2	女性の就労の支援と能力開発の支援		
取組の具体的内容	若年層への職業意識、職業知識の啓発のためのキャリア教育や、様々な分野の職業への関心を高めるため、講座や企業での職業体験等の学習機会を設けます			
担当室課	学校教育室		計画推進の指標番号	5
目標	項目		数値等	
	主に中学2年生を対象に職業体験を行う学校数		18校(全校)	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1校	3校	－	－
実績値における前年度からの増減理由	新型コロナウイルスが感染症法上の5類に移行されたことにより、各校で職業体験学習を再開したため。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 新型コロナウイルスが感染症法上の5類に移行されたことにより、職業体験等の実施を見合わせていた学校が実施を再開した。再開するに当たっては、単なる新型コロナウイルス流行前の形態に戻すのではなく、今後も感染症の流行等の影響を受けず、事業が実施できるような形態を検討し、オンラインを活用したキャリア教育の取組を実施する学校もあった。			
	(取組の効果と課題) 児童・生徒は、職場体験や職場講和を通して、社会とのつながりを学び、自己の個性や生き方、多様な進路選択を考える力を育成することができた。一方で、キャリア教育＝職業体験と単純に位置付けるのではなく、職業体験はキャリア教育の大きな枠組みの一つであるとして、小・中学校の9年間を通じた教科横断的な取組として実施するよう検討する必要がある。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も継続して実施していく。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	2	就労における男女平等		
主な取組	3	積極的格差是正や仕事と家庭の両立支援に取り組む事業所への支援		
取組の具体的内容	市が実施する総合評価落札方式一般競争入札において、女性の活躍推進や仕事と子育ての両立に取り組む事業所を評価します			
担当室課	契約検査室		計画推進の指標番号	5
目標	項目		数値等	
	工事の総合評価落札方式の入札実施にあたり 男女共同参画への取組を評価に加える。		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 工事の総合評価落札方式において、引き続き「女性活躍推進法に基づく「えるぼし」、次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん」のいずれかの認定を受けている。」ことを評価項目としている。(「吹田市総合評価落札方式(特別簡易型) 落札者決定基準」)			
	(取組の効果と課題) 入札参加事業者の就労の場における男女共同参画が推進されるものと考えてるが、更に適切な評価項目を検討していく。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	入札参加事業者の就労の場における男女共同参画が推進されるものと考えてるが、更に適切な評価項目を検討していく。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	2	就労における男女平等		
主な取組	4	起業など女性の多様な働き方への支援		
取組の具体的内容	女性対象に起業をするために必要な実践的知識を学ぶ講座を開催します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	4・5
目標	項目		数値等	
	対象講座開催数		1講座	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1講座	1講座	—	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 女性を対象に、起業・創業を支援するための8回連続講座を開催した。			
	(取組の効果と課題) 受講者同士が情報交換をする時間を設け、様々な情報を持ち帰ってもらった。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	商工会議所等と連携し、引き続き実施する。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	2	就労における男女平等		
主な取組	4	起業など女性の多様な働き方への支援		
取組の具体的内容	市民や事業所に対して、多様な働き方について、セミナーや情報提供などの啓発を実施します			
担当室課	地域経済振興室		計画推進の指標番号	5
目標	項目		数値等	
	セミナーの開催		1回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	みんなで学ぶワークルールセミナー「働き方改革とダイバーシティ」参加者7名	みんなで学ぶワークルールセミナー「働き方改革の取組事例」参加者4名	－	－
実績値における前年度からの増減理由				
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) みんなで学ぶワークルールセミナーにて「働き方改革」をテーマにセミナーを開催。			
	(取組の効果と課題) 働き方改革の取組を推進することが職場環境の改善に繋がることから、市民や事業者が参加できるセミナーの開催は重要であり、今後も引き続き啓発を実施していく。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も引き続きセミナー等を通じて啓発や情報提供を実施していく。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	3	仕事と生活における男女共同参画		
主な取組	1	長時間労働の是正をはじめとする働き方の見直し		
取組の具体的内容	事業者に対して、働きやすい職場環境づくりのため、ワーク・ライフ・バランスについてのセミナーや情報提供などの啓発を実施します			
担当室課	地域経済振興室		計画推進の指標番号	8
目標	項目		数値等	
	セミナーの開催		1回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	みんなで学ぶワークルールセミナー「働き方改革とダイバーシティ」参加者7名	みんなで学ぶワークルールセミナー「働き方改革の取組事例」参加者4名	－	－
実績値における前年度からの増減理由				
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) みんなで学ぶワークルールセミナーにて「働き方改革」をテーマにセミナーを開催。			
	(取組の効果と課題) 働き方改革の取組を推進することがワークライフバランスに繋がることから、市民や事業者が参加できるセミナーの開催は重要であり、今後も引き続き啓発を実施していく。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も引き続きセミナー等を通じて啓発や情報提供を実施していく。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	3	仕事と生活における男女共同参画		
主な取組	1	長時間労働の是正をはじめとする働き方の見直し		
取組の具体的内容	事業者に対して、働きやすい職場環境づくりのため、ワーク・ライフ・バランスについてのセミナーや情報提供などの啓発を実施します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	8
目標	項目		数値等	
	啓発回数		2回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2回	4回	－	－
実績値における 前年度からの増減理由	新たに、SNS等を活用した情報提供に取り組んだため。			
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 事業者に向けて、誰もが働きやすい職場環境づくりのための研修会(出前講座)の案内を行った。事業者から希望がなく、講座は実施に至らなかったが、SNS等を用いて、職場におけるアンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)についての情報発信を実施した。			
	(取組の効果と課題) オンラインや動画の活用など事業者に見てもらいやすい情報提供に努める。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	事業者から研修会(出前講座)の開催の希望がない場合でも、ホームページやSNSを活用するなどの方法で啓発する。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	3	仕事と生活における男女共同参画		
主な取組	1	長時間労働の是正をはじめとする働き方の見直し		
取組の具体的内容	ワーク・ライフ・バランスの推進のため、市報や啓発誌を通して事例を紹介します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	8
目標	項目		数値等	
	ワーク・ライフ・バランスに関する啓発		1回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1回	1回	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 男女共同参画センター啓発誌ソフィアVol.105で、ワーク・ライフ・バランスに関する図書の紹介を掲載した。			
	(取組の効果と課題) 紙媒体の配布だけでなく、ホームページにも掲載し、広く啓発が行えたが、より一層の啓発が必要と考えている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も継続的に啓発を行っていく。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	3	仕事と生活における男女共同参画		
主な取組	1	長時間労働の是正をはじめとする働き方の見直し		
取組の具体的内容	業務の見直しや職員の意識改革により市職員の長時間労働の是正を図り、仕事と家庭生活の両立を促進します			
担当室課	人事室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	時間外勤務時間が年間360時間以下の職員の割合		100%	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	89.5%	91.2%	－	－
実績値における前年度からの増減理由	職員の時間外勤務縮減意識の向上により、長時間労働者が減少したことで数値の増加につながった。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 組織マネジメント、業務プロセス改善、実務能力向上に資する研修への参加を促進するとともに、ノー残業デーを実施するなど時間外勤務縮減について職員に周知を行いました。			
	(取組の効果と課題) 時間外勤務縮減意識の向上により目標の達成に近づいているものの、達成には至っていません。今後も引き続き時間外縮減への取り組みを進めていく必要があります。			
取組に対する事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き効果的な研修を実施することや、職員に対して時間外縮減の周知啓発を行います。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	3	仕事と生活における男女共同参画		
主な取組	2	男性の家事・育児・介護への参画を促進する環境の整備		
取組の具体的内容	制度の周知により、男性市職員の育児・介護休業等の取得促進に向けた意識啓発を行います			
担当室課	人事室		計画推進の指標番号	6
目標	項目		数値等	
	男性職員の育児休業取得率		50%	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	44.9%	37.1%	－	－
実績値における前年度からの増減理由	業務繁忙等の理由により、令和4年度と比較して育児休業取得率が減少しました。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 育児・介護に関する休暇休業制度の周知を行い、仕事と家庭生活の両立に向けた意識啓発を行いました。			
	(取組の効果と課題) 男性の育児休業取得はここ数年増加傾向にありますが、昨年度は減少に転じており引き続き効果的な周知啓発を行う必要があります。			
取組に対する事業の評価	C	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	全庁的な周知啓発を行うとともに、取得率の低い部局への積極的な働きかけを行い、育児休業取得率の上昇に努めます。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	3	仕事と生活における男女共同参画		
主な取組	2	男性の家事・育児・介護への参画を促進する環境の整備		
取組の具体的内容	男性料理教室や参画スタッフの活動など、男性を対象とする講座を充実します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	対象講座延べ男性受講者数		80人	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	87人	135人	－	－
実績値における前年度からの増減理由	コロナ禍に休止していたシニアリーダー活動を再開したため。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 初心者向け男性料理講座と、父と子で協力して作る料理講座を実施した。また、「夫婦で子育て」をテーマにした講座の中で、父と子でできる遊びを紹介した。			
	(取組の効果と課題) 初めてセンターに来た受講者が多く、啓発の効果があつた。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	男性に家事を担うきっかけにしてもらうため、継続して実施していく。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	3	仕事と生活における男女共同参画		
主な取組	2	男性の家事・育児・介護への参画を促進する環境の整備		
取組の具体的内容	男性料理教室や参画スタッフの活動など、男性を対象とする講座を充実します			
担当室課	まなびの支援課		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	生涯学習事業の講座実施数		3回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1回	2回	－	－
実績値における前年度からの増減理由	子育て世代の男性を対象とした講座実施を強化したため。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 子育て世代の男性を対象とした育児に関する講座を2回実施した。			
	(取組の効果と課題) アンケートにて講座内容に満足した旨の回答が多く、男性の育児への参画について高い効果が期待できる。			
取組に対する事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	受講者からの意見を取り入れた講座の追加実施等を検討する。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	3	仕事と生活における男女共同参画		
主な取組	2	男性の家事・育児・介護への参画を促進する環境の整備		
取組の具体的内容	事業所に対して、男性の育児・介護休業が取得しやすい職場づくりに向けて、セミナーや情報提供などの啓発を実施します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	7・8
目標	項目		数値等	
	啓発回数		2回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2回	4回	－	－
実績値における 前年度からの増減理由	新たに、SNS等を活用した情報提供に取り組んだため。			
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 事業者に向けて、誰もが働きやすい職場環境づくりのための研修会(出前講座)の案内を行った。事業者から希望がなく、講座は実施に至らなかったが、SNS等を用いて、職場におけるアンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)についての情報発信を実施した。			
	(取組の効果と課題) オンラインや動画の活用など事業者に見てもらいやすい情報提供に努める。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	事業者から研修会(出前講座)の開催の希望がない場合でも、ホームページやSNSを活用するなどの方法で啓発する。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	3	仕事と生活における男女共同参画		
主な取組	2	男性の家事・育児・介護への参画を促進する環境の整備		
取組の具体的内容	事業所に対して、男性の育児・介護休業が取得しやすい職場づくりに向けて、セミナーや情報提供などの啓発を実施します			
担当室課	地域経済振興室		計画推進の指標番号	7・8
目標	項目		数値等	
	セミナーの開催		1回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	みんなで学ぶワークルールセミナー「男性の育児休業取得」 参加者7名	みんなで学ぶワークルールセミナー「働き方改革の取組事例」 参加者4名	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) みんなで学ぶワークルールセミナーにて「働き方改革の取組事例」をテーマにセミナーを開催し、育児・介護休業法についても解説。			
	(取組の効果と課題) 育児・介護休業法について、市民や事業者が参加できるセミナーを開催するなど、継続した啓発活動の確保が重要であり、今後も引き続き啓発を続けていく。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も引き続きセミナー等を通じて啓発や情報提供を実施していく。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	3	仕事と生活における男女共同参画		
主な取組	2	男性の家事・育児・介護への参画を促進する環境の整備		
取組の具体的内容	父親の育児休業取得や家事や育児への協働について妊娠届出時や両親教室などで啓発します			
担当室課	すこやか親子室		計画推進の指標番号	7
目標	項目		数値等	
	①妊娠届出時の「さんきゅうパパBOOK」の冊子配布率 ②プレパパ・ママ教室への父親の参加者数		①妊娠届け出数に対する冊子配布率 ②定員数(R5:776人、R6:960人)	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	①100% ②391人	①100% ②626人	—	—
実績値における前年度からの増減理由	②教室開催回数を増やしたことで参加者は増加した。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) ①妊娠届け出時に育児休暇制度取得を促す「さんきゅうパパBOOK」の冊子を配布し啓発に努めている。 ②毎回、定員を超過申し込みがあることから、回数を増やして実施。プレパパ・ママ教室にて「パパのための育児BOOK」を配布し、家事や育児協力を促している。			
	(取組の効果と課題) ②参加後のアンケート結果より満足度が高く、夫婦で実習することで、父親の育児への意識が高められている。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	本教室だけでなく、効率的効果的に啓発できる方法の検討が必要。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	3	仕事と生活における男女共同参画		
主な取組	2	男性の家事・育児・介護への参画を促進する環境の整備		
取組の具体的内容	子供や青少年を対象とした料理に関する講座を実施します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	対象講座延べ受講者数(子供・青少年)		16人	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	16人	17人	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 子供が積極的に家事に参加することを促すため、父と子で協力して料理をする講座を、夏休みと春休みに実施した。			
	(取組の効果と課題) 料理をとおして楽しく学んでもらうことができた。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	ニーズが高く、受講者の満足度も高い講座であるので、継続して実施していく。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	3	仕事と生活における男女共同参画		
主な取組	2	男性の家事・育児・介護への参画を促進する環境の整備		
取組の具体的内容	育児施設における父親向けのプログラムを充実します			
担当室課	保育幼稚園室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	男性の育児について情報共有と啓発		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) いろいろな機会に子供と一緒に楽しめる遊びを紹介したり、土曜日に園の行事や地域子育て支援事業を開催したりすることで、父親も子育てに関わる機会が持てるような取り組みをした。			
	(取組の効果と課題) 父親に行事や地域子育て支援事業に参加してもらうことで、育児参加の楽しさを感じてもらうことができた。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き、父親も母親も子供と向き合うことが楽しいと感じられるような取り組みを考えていく。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	3	仕事と生活における男女共同参画		
主な取組	2	男性の家事・育児・介護への参画を促進する環境の整備		
取組の具体的内容	育児施設における父親向けのプログラムを充実します			
担当室課	のびのび子育てプラザ		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	開催回数、参加人数		48回、960人	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	開催回数 48回 参加人数 640人	開催回数 42回 参加人数 581人	—	—
実績値における 前年度からの増減理由	毎月開催目標にしているが、8月は実施しなかったため(1回あたりの平均参加人数は増減なし)			
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 特に月齢の小さい赤ちゃんの父親が子への関わりに自信が持てるように工夫できた。			
	(取組の効果と課題) 父親が子への関わりに自信が持てるように工夫できた。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	父親が主体的に育児できるように、引き続き継続して実施する。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	3	仕事と生活における男女共同参画		
主な取組	3	仕事と育児の両立のための保育環境の整備		
取組の具体的内容	保育所等の整備により、保育の受け皿を確保します			
担当室課	保育幼稚園室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	待機児童数(各年4月1日時点)		0人	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	0人 (新たな保育の受け皿確保数 1か所、100人)	0人 (新たな保育の受け皿確保数 0か所、0人)	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 保育環境改善等を目的とし、私立保育所の改築支援を実施した。			
	(取組の効果と課題) 保育施設利用希望者は増加傾向にある。将来的に提供量不足に陥らないよう必要量を見込み、状況に応じて確保策を進めていく必要がある。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き、吹田市子ども・子育て支援事業計画(※)に示す保育必要量の見込みに基づき確保策の検討を進める。 ※現行計画期間は令和6年度まで。令和6年度末にかけて次期計画(令和7年度から11年度まで)を策定。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	3	仕事と生活における男女共同参画		
主な取組	3	仕事と育児の両立のための保育環境の整備		
取組の具体的内容	児童の放課後の家庭に代わる安心・安全な居場所と保育を提供します			
担当室課	放課後子ども育成室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	留守家庭児童育成室の待機児童数		0人	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	待機児童数 11人 入室児童数 4,688人	待機児童数 106人 入室児童数 4,962人	－	－
実績値における 前年度からの増減理由	入室希望児童の大幅な増加に伴い、必要な指導員の確保ができなかったため。			
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 留守家庭児童育成室の入室希望児童が昨年度と比べ大幅に増加している状況を踏まえ、小学校の協力を得ながら、必要な施設の確保を進めた。また、指導員の欠員を解消するため、人材派遣サービス活用等により指導員の確保を行い、令和5年4月から指導員の初任給の報酬を6号給引き上げ、指導員の処遇改善を図るとともに、令和6年度から運営業務を委託する2か所の留守家庭児童育成室において、委託事業者を選定した。更に、留守家庭児童育成室の待機児童が放課後に安全で安心して過ごすことができる放課後キッズスクエアを開設した。			
	(取組の効果と課題) 放課後の児童に安心・安全な居場所を提供できている。必要な施設の確保を進めた一方で、指導員の確保について、約50人の欠員が生じたことにより入室希望児童の受入れに必要な指導員を確保することができず、待機児童が生じた。			
取組に対する 事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	留守家庭児童育成室において、増加している入室希望児童を受け入れるために引き続き、必要な施設の確保や指導員の確保を進めるとともに、民間事業者への運営業務委託の加速化に取り組む。また、待機児童が生じる学校において、教室やグラウンド等を活用し、安全で安心して過ごすことができる放課後キッズスクエアを開設する。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	4	地域における男女共同参画		
主な取組	1	防災・防犯分野における女性の参画拡大		
取組の具体的内容	女性の視点を地域防災計画や防災・防犯施策に反映させるため、吹田市防災会議等の防災・防犯に関する政策・方針決定過程へ、女性の学識経験者等を積極的に登用し、女性の参画を拡大します			
担当室課	危機管理室		計画推進の指標番号	9
目標	項目		数値等	
	男女共同参画の視点をを入れる取組の有無		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	男女共同参画の視点を防災施策に反映するため、専門委員3名(女性)を委嘱した。	男女共同参画の視点を防災施策に反映するため、専門委員4名(女性)を委嘱した。	—	—
実績値における前年度からの増減理由				
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 男女共同参画の視点を防災施策に反映するため、専門委員(女性4名)の意見を聴取。			
	(取組の効果と課題) 女性の視点を踏まえ、地域防災計画を修正。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、地域防災計画に女性の視点を加えた修正を行う。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	4	地域における男女共同参画		
主な取組	1	防災・防犯分野における女性の参画拡大		
取組の具体的内容	避難所運営や災害ボランティア活動などにおいてジェンダーの視点からの配慮に取り組みます			
担当室課	危機管理室		計画推進の指標番号	9
目標	項目		数値等	
	男女共同参画の視点をを入れる取組の有無		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	地域防災リーダー育成講習において、男女共同参画センター主催の参画スタッフ養成セミナーと連携することで、男女共同参画の視点を取り入れた。	地域への防災講座を実施する際に、災害時における男女共同参画の視点を踏まえた内容とした。	—	—
実績値における前年度からの増減理由				
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 防災講座の内容に、男女共同参画の視点を盛り込むとともに、HUG(避難所運営ゲーム)を実施して避難所運営開設の注意点の共有などを行うことで、避難所運営における男女共同参画の必要性を説明した。			
	(取組の効果と課題) 災害時における男女共同参画の必要性について地域と共有を行えた。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、男女共同参画の視点を踏まえた防災講座の内容を充実させるとともに、女性の避難所運営への参画の必要性を啓発する。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	4	地域における男女共同参画		
主な取組	1	防災・防犯分野における女性の参画拡大		
取組の具体的内容	女性消防職員の採用・登用を促進するとともに、職業能力の向上を支援します			
担当室課	総務予防室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	女性消防職員の採用		3人	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1名	0名	－	－
実績値における 前年度からの増減理由	合格者は3名いましたが、全員が他市への入庁となったため。			
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 各学校で開催された合同就職説明会や総務省消防庁主催の合同Webセミナーへの参加。			
	(取組の効果と課題) 合格者が複数いたにも関わらず採用に至らなかったため、本市を選ばなかった理由について考え、改善していく必要がある。			
取組に対する 事業の評価	C	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	説明会等は受動的な参加がほとんどであったため、受験者数確保のため能動的に行っていく必要がある。また働き方改革等、職場環境の改善も必要と考える。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	4	地域における男女共同参画		
主な取組	1	防災・防犯分野における女性の参画拡大		
取組の具体的内容	女性消防団員の入団を促進し、防災分野における女性の参画拡大に取り組みます			
担当室課	総務予防室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	女性消防団員の入団		8名	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	5名	4名	－	－
実績値における 前年度からの増減理由	4名の新規入団があったため。			
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 消防団PR動画を二十歳を祝う式典等で流すことや、吹田スタジアムフェスタや地域防災訓練の体験展示ブースに参加し、入団を呼び掛けた。			
	(取組の効果と課題) 4名の新規入団があったため、一定の効果はあったと思われるが今後も持続的な広報活動が必要。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	令和5年度の実践を継続するとともに、SNSを活用したPR活動などを拡充していく。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	4	地域における男女共同参画		
主な取組	2	男女共同参画を推進する市民団体等への支援		
取組の具体的内容	男女共同参画に関するリーダー養成講座の開催や、市民団体等の交流・ネットワークづくりを支援します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	対象講座延べ受講者数		320人	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	382人	334人	－	－
実績値における前年度からの増減理由	参画スタッフ(市民ボランティア)の養成講座の受講者数が少なかったため。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 男女共同参画の視点を持ち、情報発信力などのスキルを身に付けた人材を育成するための講座を開催した。また、子育て中の人の学習を支援するために、受講中の一時保育を担う人材を養成する講座を開催した。 また、市民の男女共同参画の活動に部屋を貸し出すほか、センターを拠点に活動する市民グループ等を支援するため、センター内の印刷機の使用許可や、登録団体へのロッカー及びトイレの無料貸与等を行った。			
	(取組の効果と課題) 男女共同参画の基礎知識を学ぶだけではなく、その後、当センター内で市民スタッフとして登録・活動してもらい、リーダーシップを発揮できる場を提供できている。 市民団体等への活動支援は一定行えたが、新たな団体等の利用促進等が課題である。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	対象講座の受講者数を増やすために回数や時期、手法を見直す。講座の周知においては、男女共同参画に関するテーマについて、自分事として考えてもらえるように市民に伝わりやすい言葉で発信する。 新たな団体の利用促進方法について検討していく。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	4	地域における男女共同参画		
主な取組	3	地域活動におけるジェンダー平等の推進		
取組の具体的内容	性別にかかわらず参加できるよう市民公益活動を支援します			
担当室課	市民自治推進室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	設定なし		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) ボランティア・NPO初歩講座、地域人材育成のための連続講座等の実施や、週末や余暇の新しい過ごし方として、「短時間でできる(ぶち)ボランティア活動」のプログラムの提供等、性別に関わらず市民公益活動に参加いただけるよう支援を実施しています。また、市民公益活動団体相互及び市民・事業者・行政・地域社会等との交流・連携を促進する事業として、市民協働のニーズを受け付け、分野やセクターを超えた連携・マッチングの支援ができる状況を整えています。			
	(取組の効果と課題) 市民が、ボランティアやNPO、地域の活動について知り、自分に合った市民公益活動を見つけ参加することに繋がりました。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も、市民のボランティア活動のきっかけとなるように広報活動やマッチングを実施し、また市民公益活動団体相互及び市民・事業者・行政・地域社会等との交流・連携を促進できるよう、体制を確保していきます。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	4	地域における男女共同参画		
主な取組	3	地域活動におけるジェンダー平等の推進		
取組の具体的内容	ジェンダーの視点をもったボランティア人材を養成します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	対象講座延べ受講者数		320人	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	382人	334人	－	－
実績値における前年度からの増減理由	参画スタッフ(市民ボランティア)の養成講座の受講者数が少なかったため。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 男女共同参画の視点を持ち、情報発信力などのスキルを身に付けた人材を育成するための講座を開催した。また、子育て中の人の学習を支援するために、受講中の一時保育を担う人材を養成する講座を開催した。			
	(取組の効果と課題) 男女共同参画の基礎知識を学ぶだけではなく、その後、当センター内で市民スタッフとして登録・活動してもらい、リーダーシップを発揮できる場を提供できている。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	対象講座の受講者数を増やすために回数や時期、手法を見直す。講座の周知においては、男女共同参画に関するテーマについて、自分事として考えてもらえるように市民に伝わりやすい言葉で発信する。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	4	地域における男女共同参画		
主な取組	3	地域活動におけるジェンダー平等の推進		
取組の具体的内容	地域における女性の参画状況の調査結果を公表するとともに、各種団体における女性の参画拡大に向けて意識啓発を行います			
担当室課	人権政策室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	自治会長における女性の割合の調査		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 自治会長に占める女性の割合を調査し、結果を公表した。			
	(取組の効果と課題) 調査結果を公表することにより、地域活動における女性の参画状況の現状を周知することができた。 男女共同参画意識の醸成には継続した啓発が有効であるとする。			
取組に対する 事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	効果的な啓発方法を検討しながら継続して取り組んでいく。			

男女共同参画に関する施策の実施状況

基本方向2

暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	1	暴力の根絶のための意識啓発と環境整備		
取組の具体的内容	暴力(DV、ハラスメント等)、性の商品化等の根絶のため、パンフレットや市報その他の広報誌等を通じて広報、啓発を推進します			
担当室課	人権政策室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	啓発冊子等の発行部数		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	Wリボンプロジェクトチラシ 8,000枚	Wリボンプロジェクトチラシ 8,000枚	—	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) ホームページ、LINEやFacebook等のSNSで「暴力のない安心安全のまち、すいた」の実現に向けて情報を発信した。 人権政策室が主催するイベント等において啓発用チラシを配布するとともに、吹田市内郵便局との包括連携協定の取組の1つとして、吹田郵便局及び吹田千里郵便局の集配車両にWリボンマークマグネットを貼付、市内全郵便局の窓口にWリボンプロジェクトに関する卓上POPを設置し、暴力防止の取組について市民へ広く周知した。			
	(取組の効果と課題) 多くの市民や事業者が利用する郵便局に協力いただくことで、広く周知することができた。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	意識啓発にあたっては継続した取組が必要であり、今後も様々な媒体を通じて暴力防止の啓発に努める。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	1	暴力の根絶のための意識啓発と環境整備		
取組の具体的内容	暴力(DV、ハラスメント等)、性の商品化等の根絶のため、パンフレットや市報その他の広報誌等を通じて広報、啓発を推進します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	啓発誌ソフィアにおいてDV関連の記事を掲載する		1記事	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	3記事/ソフィア103号 デートDVとWリボンプロジェクト 等の記事を掲載	2記事/ソフィア105号 Wリボンプロジェクト 等の記事を掲載	—	—
実績値における 前年度からの増減理由	令和4年度はソフィア103号で「大人になる前に知ってほしい デートDV」と題して若者向けの特集記事を掲載したが、令和5年度は他の特集記事を掲載したため。			
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) ソフィアの中で、W(ダブル)リボンプロジェクトの特集記事やお勧め図書としてDVに関する本を掲載した。			
	(取組の効果と課題) ソフィア内でDVについて取り上げ、広く周知を行った。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も引き続きDVに関する啓発を行っていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	1	暴力の根絶のための意識啓発と環境整備		
取組の具体的内容	学校、保育所・幼稚園等を通じて、保護者等へパンフレットの配布などによる情報提供を行い、暴力の根絶に向けた広報・啓発に努めます			
担当室課	家庭児童相談室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	リーフレットの配布部数		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	22,000部	47,000部	－	－
実績値における前年度からの増減理由	国から例年より多くのリーフレットの提供を受け、保育園や幼稚園に加えて小学校・中学校にも配布したため。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 児童虐待防止推進月間において、啓発用のポスターやリーフレットを保育園や幼稚園に加え小学校・中学校に配布しました。 また、市民向けの講演会の開催を行うとともに、母子保健課(現すこやか親子室)での乳幼児健診時に児童虐待防止に関するリーフレットを配布するなど、児童虐待防止に向けた啓発活動を行いました。			
	(取組の効果と課題) 市民に対し、様々な場面で児童虐待防止に関する啓発活動を行うことで、児童虐待防止への意識の醸成を図ることができました。引き続き虐待防止に向け広報・啓発を行っていく必要があります。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き児童虐待防止について広報、啓発を行っていく必要があります。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	1	暴力の根絶のための意識啓発と環境整備		
取組の具体的内容	学校、保育所・幼稚園等を通じて、保護者等へパンフレットの配布などによる情報提供を行い、暴力の根絶に向けた広報・啓発に努めます			
担当室課	保育幼稚園室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	暴力を許さない意識の啓発		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 暴力の根絶に向けて、保護者に話をしたり掲示物を掲示したりして、暴力を許さない意識の啓発に努めた。			
	(取組の効果と課題) 個々の家庭で抱える課題が多様である。保護者が暴力を許さない子育てについて、意識をもてるよう引き続き啓発が必要である。			
取組に対する 事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	暴力根絶のために、職員間で共通理解し、保護者への啓発を継続する。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	1	暴力の根絶のための意識啓発と環境整備		
取組の具体的内容	学校、保育所・幼稚園等を通じて、保護者等へパンフレットの配布などによる情報提供を行い、暴力の根絶に向けた広報・啓発に努めます			
担当室課	学校教育室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	「児童の権利に関する条約」啓発パンフレットの配布		小学校1年生保護者への配布100％	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	100.0％	100.0％	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 小学校1年生保護者に配布し、虐待防止やいじめ問題の解決に向けた内容や、相談窓口等についての周知・啓発を行った。合わせて、各校・園に児童の権利に関する条約パンフレットを配布するとともに、施設、PTAにも配布を行った。 また、令和5年度はこども家庭庁からの依頼を受け、児童虐待防止推進に関するリーフレットを配布した。			
	(取組の効果と課題) 小学校入学時に保護者へ配布するにあたり、虐待やいじめ問題といった人権課題の解決に向けた内容を周知する機会となり、新入生全家庭への啓発となっている。今後も、「児童の権利に関する条約」について保護者等に紹介し、人権意識の向上と啓発を目指していく必要がある。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も継続して実施していく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	1	暴力の根絶のための意識啓発と環境整備		
取組の具体的内容	市職員や教職員への研修を行います			
担当室課	人事室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	開催回数		1回/年度	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2回	2回	－	－
実績値における前年度からの増減理由				
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 障がい福祉室が実施する吹田市地域自立支援協議会研修地域会議講演会(※1)及び人権政策室が主催する市民セミナー(※2)を職員研修扱いとしました。(※1)幼少期からの虐待、親の精神疾患等を体験した人は、身体的・精神的問題を抱えやすいと言われており、そのような心の傷についての正しい知識を持ち、適切な支援をすることをテーマとする「はじめてのトラウマインフォームドケア〜トラウマの理解と対応」の講演会。(※2)「育児困難を虐待に発展させないために」をテーマとする「親の心に寄り添う支援」についてのセミナー。			
	(取組の効果と課題) 特定の人を対象とした研修等を職員研修扱いとすることにより、効果的・効率的に研修を実施しています。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	関係部局と連携して職員への受講勧奨に努めます。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	1	暴力の根絶のための意識啓発と環境整備		
取組の具体的内容	市職員や教職員への研修を行います			
担当室課	教育センター		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	研修内容に対する肯定的評価率		(とても良い、良い) 100%	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	100.0%	100.0%	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) ハラスメント防止のための意識啓発と環境整備に係る研修をキャリアステージに応じて計画的に実施した。			
	(取組の効果と課題) ハラスメントに関する研修は管理職研修及び各校における校内研修で取扱い、令和5年度は教育課題別研修において子供理解に関する内容に関連付けて意識啓発を行った。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	アンケートの回答内容等を踏まえ、研修内容の精査を図る。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	1	暴力の根絶のための意識啓発と環境整備		
取組の具体的内容	防犯カメラ、防犯灯、街路灯等の整備など危険場所のチェックと環境改善に取り組みます			
担当室課	危機管理室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	防犯カメラの設置 (平成28年度から平成30年度までの3か年計画に基づく設置)		設置済み	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	97台 (804台)	92台 (807台)	－	－
実績値における 前年度からの増減理由	防犯カメラの更新が必要となった地区において、機器更新とあわせて防犯カメラ台数の増設が実施できたため。 (実績値における())は累積台数)			
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 地域の防犯力向上に資するよう地域の実情や犯罪情勢等を踏まえ、吹田警察等と連携して防犯カメラの設置箇所の検討を行い、防犯カメラの更新及び増設を行った。			
	(取組の効果と課題) 犯罪認知件数は、平成30年度から減少傾向にあり、防犯カメラの設置も件数減少に一定の寄与をしているものと推測します。 防犯カメラの設置効果の検証を図るなかで、今後の設置箇所や設置台数の見直しを絶えず行っていくことが課題であると考えます。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	防犯カメラの計画的な増設については終了し、今後は地域の要望や、犯罪情勢にあわせて検討していく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	1	暴力の根絶のための意識啓発と環境整備		
取組の具体的内容	防犯カメラ、防犯灯、街路灯等の整備など危険場所のチェックと環境改善に取り組みます			
担当室課	道路室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	街路灯(防犯灯)の維持補修による適切な照度確保		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	21,237灯	21,338灯	－	－
実績値における前年度からの増減理由	開発譲渡や要望等により新設されたもので増となり、市から府への移管分及び管理台帳と現地の照合作業で減となった。総数としては若干の増となった。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 水銀灯・蛍光灯などの照明器具をLED灯に更新している。			
	(取組の効果と課題) LED灯を設置することにより、不点灯箇所が少なくなることから、安心安全なまちづくりに一定の成果が期待できる。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	街路灯(防犯灯)については、引き続き同様の取組を行う。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	1	暴力の根絶のための意識啓発と環境整備		
取組の具体的内容	幼児期から学校教育の各段階における暴力を許さない教育の推進に努めます			
担当室課	保育幼稚園室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	気持ちを言葉で伝え合う機会を大切にする		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 教育・保育の中で話をしたり絵本を見たりして、自分も友達も大切にすることを繰り返し伝えた。 友達とけんかになった時などに、叩いたり蹴ったりして相手を傷つけるのではなく、言葉で伝えることを身に付けられるように取り組んだ。			
	(取組の効果と課題) 教育・保育の中で、自分も友達も大切にすることを育むことに努めた。			
取組に対する 事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も、言葉で相手に気持ちを伝え、やりとりをする力を育めるよう、全職員の意識や指導法の学びを深める。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	1	暴力の根絶のための意識啓発と環境整備		
取組の具体的内容	幼児期から学校教育の各段階における暴力を許さない教育の推進に努めます			
担当室課	学校教育室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	生徒指導主事会・学警連絡会		年間10回以上	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	11回	11回	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 小・中学校の生徒指導主事・主担者や教育委員会事務局、吹田補導地区吹田少年補導協助員会、警察、子ども家庭センター、茨木サポートセンターなどの関係諸機関、スクールソーシャルワーカースーパーバイザーが参加し、いじめや暴力、虐待の早期発見や早期対応、未然防止を目的として、各校のいじめ事案や暴力事案、虐待事案を関係諸機関と情報共有し、研究協議を行った。			
	(取組の効果と課題) 事案の現状と傾向について、より広い視野での情報を共有をすることで、各学校と教育委員会、それぞれの対応機関と連携し、問題行動の未然防止、問題行動を起こした児童・生徒への指導・支援、子どもたちの家庭環境の改善など、地域で一貫した指導・支援を行い、早期発見、早期対応、未然防止を進めていくことができている。 しかし、様々な事案に関する情報共有が中心となっているため、協議や交流などの時間の確保について検討していく必要がある。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も継続して実施していく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	1	暴力の根絶のための意識啓発と環境整備		
取組の具体的内容	家庭や学校などにおいて、ソーシャルスキルトレーニング(社会で生活するための力、コミュニケーション力)を実施するための啓発に努めます			
担当室課	学校教育室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	全中学校ブロックへのSSW(スクールソーシャルワーカー)配置時間		週20時間	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	週20時間 年43週	週20時間 年43週	—	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 各中学校ブロックにSSWを派遣し、いじめ・不登校・虐待等の生徒指導上の諸課題に対して組織的な対応について助言を行った。 また、SSWが講師としてソーシャルスキルトレーニング等をテーマとした校内研修を行った。			
	(取組の効果と課題) SSWが派遣されることにより、生徒指導上の諸課題に対して、組織的な対応を可能とする学校体制の構築を進めるとともに、福祉的な視点を取り入れたソーシャルスキルトレーニングの実施が各校で可能となっている。 SSWのニーズが高まる半面、雇用条件や労働環境についての課題もあるため改善に向けた働きかけを進めていく必要がある。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も継続して実施していく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	1	暴力の根絶のための意識啓発と環境整備		
取組の具体的内容	保育教諭や教職員等を対象にした研修会を通じて、暴力根絶のための意識啓発を図ります			
担当室課	保育幼稚園室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	虐待の未然防止、早期発見の意識向上		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における前年度からの増減理由				
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 保育教諭等、全職員に対して、児童虐待についての研修実施し学ぶ機会を設けた。			
	(取組の効果と課題) 全職員で学びを深め、子供に対する暴力防止についての意識を高めた。			
取組に対する事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	新規採用職員を含め、全職員で虐待の未然防止、早期発見に取り組むことができるように意識啓発を図る。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	1	暴力の根絶のための意識啓発と環境整備		
取組の具体的内容	保育教諭や教職員等を対象にした研修会を通じて、暴力根絶のための意識啓発を図ります			
担当室課	学校教育室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	SSW(スクールソーシャルワーカー)担当者会		3回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	3回	3回	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 学期に1回SSW担当者会を開き、担当者の学校での役割を確認するとともに、SSWの効果的な活用に向けた情報共有及び研修を行った。			
	(取組の効果と課題) SSWの効果的な活用について情報共有を行うことにより、各校におけるSSWの活用の幅を広げることができた。 今後は、SSWとの連携だけでなく、いじめ・不登校・虐待等子供を取り巻く様々な事象についても取り扱っていく必要がある。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も継続して実施していく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	1	暴力の根絶のための意識啓発と環境整備		
取組の具体的内容	保護者対象に体罰によらない育児について啓発します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	対象講座延べ受講者数		100人	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	104人	140人	－	－
実績値における前年度からの増減理由	のびのび子育てプラザとの共催分において、SNSで周知を行ったところ、申込者数が増加したため。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 叩かず、甘やかさずに子育てをする方法を学ぶ「スターペアレンティング講座」を、センター主催で1回、のびのび子育てプラザとの共催で1回、計2回実施した。			
	(取組の効果と課題) グループワーク(受講者同士の意見交換)を取り入れ、交流しながら学ぶことができた。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	市の子育て支援に関する情報提供も行っていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	1	暴力の根絶のための意識啓発と環境整備		
取組の具体的内容	保護者対象に体罰によらない育児について啓発します			
担当室課	保育幼稚園室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	体罰によらない育児の啓発		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 保護者と個別に話し、家庭における子育ての様子や困り感等をできる限り把握し、個々に応じた支援を行うよう努めた。 参観や懇談会等の場において、暴力を許さない子育てについての推進を図った。			
	(取組の効果と課題) 保護者一人ひとりと個別に話す時間の確保が難しく、保護者の思いや課題を十分に聞きとることができないケースがある。 保護者の何気ない言動や行動が、子供を傷つけていることに気づかないなど、伝え方が難しい。			
取組に対する 事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	保護者に啓発していくためには、保育教諭が暴力のない教育・保育についての学びを深め、保護者に伝えられる力量を付けていく必要がある。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	1	暴力の根絶のための意識啓発と環境整備		
取組の具体的内容	保護者を対象に体罰によらない育児について啓発します			
担当室課	家庭児童相談室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	親支援プログラム受講者で有効性が認められた参加者の割合		80%以上	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	90.0%	80.0%	－	－
実績値における前年度からの増減理由	実績値はプログラムに対する点数評価(100点満点)が80点以上だった参加者比率を示しています。参加者の感想にプログラムの進行に改善を求める意見が挙げられたことから、進行が点数評価に影響している可能性があります。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 子育てに困っている保護者を対象に、子育てのスキルや問題解決力の向上を目的とした講座を年2回実施し、児童虐待の未然防止を図りました。			
	(取組の効果と課題) 昨年度からは減少したものの、8割以上の参加者に講座の有効性が認められ、保護者の子育てに対する不安や負担感が改善されました。課題として、参加者からの意見を踏まえプログラムの進行を改善すると共に、平日開催のため対象者が限られていたことを鑑み、開催曜日等を見直す必要があります。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き講座を実施するとともに、平日受講することができない保護者にも参加してもらえるよう休日の講座を2回実施し、さらなる児童虐待の未然防止に努めていきます。また、進行管理を見直すことで、より充実したプログラムを目指します。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	1	暴力の根絶のための意識啓発と環境整備		
取組の具体的内容	保護者対象に体罰によらない育児について啓発します			
担当室課	すこやか親子室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	こども家庭庁作成の児童虐待防止リーフレット配布		100%	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	100.0%	100.0%	－	－
実績値における前年度からの増減理由				
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 1歳6か月児健康診査健診票の郵送時に、こども家庭庁作成の児童虐待防止のリーフレットを同封し、全ての健診対象者に啓発を実施。			
	(取組の効果と課題) 乳幼児健診における「すこやか親子21アンケート」の虐待項目に該当があった保護者に状況確認し、相談や指導を実施。虐待事実(疑い含む)を把握した場合は、家庭児童相談室と連携して対応している。4か月児健診は個別健診であるため、タイムリーに対応できるように医師へ健診受診後すぐに連絡もらえるように依頼および周知している。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、啓発及び必要な支援を実施。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	2	性犯罪・性暴力防止対策の推進		
取組の具体的内容	性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センターなどの被害者救済対策にかかる情報を周知します			
担当室課	人権政策室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	性犯罪・性暴力相談窓口の周知		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における前年度からの増減理由				
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) ホームページ、SNSに性犯罪・性暴力の相談窓口を掲載するとともに、ポスター掲示、窓口へのパンフレット設置等により相談窓口の周知に努めた。			
	(取組の効果と課題) SNSを活用することで、若年層に対して効果的な啓発ができています。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も様々な媒体を通じて性犯罪・性暴力被害の防止の啓発、相談窓口の周知に努める。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	2	性犯罪・性暴力防止対策の推進		
取組の具体的内容	性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センターなどの被害者救済対策にかかる情報を周知します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	ホームページでの周知を行う		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	ホームページにて常時周知	ホームページにて常時周知	－	－
実績値における前年度からの増減理由				
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 国や府からの情報を適宜ホームページに更新した。 また、学校でのデートDV予防啓発出前授業において、相談先等の情報提供を実施した。			
	(取組の効果と課題) 常に、周知している情報が最新のものであるか確認する必要がある。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、人権政策室と連携しながら情報共有を行っていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	3	ハラスメント防止体制の整備と啓発の推進		
取組の具体的内容	安心して働ける職場環境の実現のため、事業所に対してハラスメント防止対策ガイドラインの策定の支援や啓発を行います			
担当室課	地域経済振興室		計画推進の指標番号	10・11
目標	項目		数値等	
	セミナーの開催		1回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	みんなで学ぶワークルールセミナー「職場におけるパワーハラスメント」参加者8名	みんなで学ぶワークルールセミナー「職場におけるハラスメント」参加者14名	－	－
実績値における前年度からの増減理由				
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) みんなで学ぶワークルールセミナーにて共催である茨木市で「職場におけるハラスメント」をテーマにセミナーを開催。			
	(取組の効果と課題) ハラスメントの防止に係る情報について、事業所における雇用主及び労働者に対して、多様な媒体で情報提供・啓発をすることが重要であるため、今後も啓発に取り組んでいく。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も引き続きセミナー等を通じて啓発や情報提供を実施していく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	3	ハラスメント防止体制の整備と啓発の推進		
取組の具体的内容	市職員への周知徹底を図るとともに、研修や苦情処理制度の充実を図ります			
担当室課	人事室		計画推進の指標番号	11
目標	項目		数値等	
	開催回数		1回/年度	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1回	1回	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 個々の業務都合に合わせて受講が可能な動画配信による研修を実施することにより、より多くの職員が効果的に受講ができる環境を整えました。			
	(取組の効果と課題) 引き続き、効果的な研修を実施することで、ハラスメントのない職場環境づくりに対する、職員一人ひとりの意識向上を図ります。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	法改正や社会情勢の変化等に対応しながら研修内容を検討します。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	3	ハラスメント防止体制の整備と啓発の推進		
取組の具体的内容	市職員への周知徹底を図るとともに、研修や苦情処理制度の充実を図ります			
担当室課	人権政策室		計画推進の指標番号	11
目標	項目		数値等	
	市職員からのハラスメント相談件数		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	0件	0件	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 人権政策室へのハラスメント相談はなかった。			
	(取組の効果と課題) 近年は相談実績がないため、ノウハウの継承やハラスメント相談員を担う職員のスキルアップが課題である。			
取組に対する 事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	研修等に参加することにより相談員のスキルアップを図り、相談があった場合は適切に対応する。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	3	ハラスメント防止体制の整備と啓発の推進		
取組の具体的内容	教職員に対して、「吹田市立学校におけるハラスメントの防止及び対応に関する指針」に基づき対応し、研修を行い啓発を推進します			
担当室課	教職員課		計画推進の指標番号	11
目標	項目		数値等	
	各種ハラスメントに対する教職員の意識向上と相談体制の充実		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) ・府の指針に基づき、令和4年5月に市各種ハラスメントの防止及び対応に関する指針を改訂し、同指針を活用し、ハラスメントに対する意識向上と、相談体制の充実に取り組んだ。 ・各種ハラスメントに関する管理職研修の実施や不祥事防止に関する資料を基にした綱紀保持に関する積極的な注意喚起に取り組んだ。			
	(取組の効果と課題) 各校では校内相談窓口を設置し、指針をもとに、ハラスメントに対する意識の向上、相談体制の充実に取り組んでいる。また、当課から発出した資料を活用し、校内研修を実施するなど、未然防止と組織的な対応を行っている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き、市各種ハラスメントの指針に基づき、セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメントの防止体制の整備と啓発の推進に努める。また、「職場における教職員間のハラスメント実態把握アンケート」を実施し、働きやすい環境づくりを目指して、ハラスメントの予防・解決に向けた取組みを推進する。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	3	ハラスメント防止体制の整備と啓発の推進		
取組の具体的内容	教職員に対して、「吹田市立学校におけるハラスメントの防止及び対応に関する指針」に基づき対応し、研修を行い啓発を推進します			
担当室課	教育センター		計画推進の指標番号	11
目標	項目		数値等	
	研修内容に対する肯定的評価率		(とても良い、良い) 100%	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	100.0%	100.0%	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) ハラスメント防止についての研修をキャリアステージに応じて計画的に実施した。			
	(取組の効果と課題) ハラスメント防止に関する研修は管理職研修及び各校における校内研修で取扱った。引き続き教職員に対して、様々なハラスメントの防止・対応に関する啓発に取り組む必要がある。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	アンケートの回答内容等を踏まえ、研修内容の精査を図る。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	3	ハラスメント防止体制の整備と啓発の推進		
取組の具体的内容	消防職員に対して、「吹田市消防職員パワーハラスメント防止に関する指針」を周知徹底するとともに、ハラスメントに関する研修を実施します			
担当室課	総務予防室		計画推進の指標番号	11
目標	項目		数値等	
	ハラスメントの撲滅		0件	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	0件	0件	－	－
実績値における 前年度からの増減理由	ハラスメントに至らない相談は数件あったが、ハラスメントと認定された案件はないため。			
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 幹部を中心に風通しのよい職場づくりを心掛け、研修についてもハラスメント全般の内容で、階級を分けて受講している。			
	(取組の効果と課題) 以前に比べて減ってはきているが、危険を伴う業務上、指導においてパワーハラスメントになりかねない場面がある。			
取組に対する 事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	研修については継続的な受講を計画し、それ以外でもケーススタディ等を行い、ハラスメントの防止に努めていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	3	ハラスメント防止体制の整備と啓発の推進		
取組の具体的内容	子供が安心して暮らせる環境の実現のため、小・中学生が相談できる窓口(学校内・学校外)を充実します			
担当室課	教育センター		計画推進の指標番号	11
目標	項目		数値等	
	市内保育所・幼稚園 市立小・中学校への 教育相談チラシの配布率		100%	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	100.0%	100.0%	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 市内保育所・幼稚園、市立小・中学校への教育相談チラシの配布			
	(取組の効果と課題) 教育センターの事業である教育相談について周知することができている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も継続してチラシの配布を進めていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	3	ハラスメント防止体制の整備と啓発の推進		
取組の具体的内容	安心して働ける職場環境の実現のため、市職員や事業所等におけるこころの健康(メンタルヘルス)のための取組を推進します			
担当室課	人事室		計画推進の指標番号	10・11
目標	項目		数値等	
	セルフケア研修 ラインケア研修		セルフケア研修(新規採用職員対象・全職員対象/年) ラインケア研修(新任主査級対象・新任課長・課長代理級対象/年)	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	セルフケア研修(新規採用職員対象・全職員対象) ラインケア研修(新任主査級対象・新任課長・課長代理級対象)	セルフケア研修(新規採用職員対象・全職員対象) ラインケア研修(新任主査級対象・新任課長・課長代理級対象)	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) セルフケア研修は新規採用職員対象と全職員を対象としたものを行いました。 ラインケア研修は新任主査級対象と新任課長級・課長代理級を対象としたものを行いました。 セルフケア研修では自身のメンタルケアの重要性を伝え、具体的な取り組みの例などを提示しています。ラインケア研修においても、まずは自身のメンタルケアが大事であることを伝えたうえで、部下への関わり方で気を付ける点などを伝える内容としました。			
	(取組の効果と課題) 研修後のアンケートでは、研修内容の理解度は高く、実践していきたいとの声が多数聞かれました。 一方で、産業医面談等で職場の対人関係等についての相談を受けることもあるため、そうした悩みが所属内で相談できるようにしていく必要性があります。そのためにも今後も継続して対象別の研修を行い、職場の環境改善に向けた取り組みを行っていきます。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	職員のメンタルヘルス向上につながる研修内容を検討していきます。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	3	ハラスメント防止体制の整備と啓発の推進		
取組の具体的内容	安心して働ける職場環境の実現のため、市職員や事業所等におけるこころの健康(メンタルヘルス)のための取組を推進します			
担当室課	地域経済振興室		計画推進の指標番号	10・11
目標	項目		数値等	
	ハラスメント防止体制の整備と啓発の推進		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 市HPにおいて、メンタルヘルスの対策に関する情報を掲載。			
	(取組の効果と課題) メンタルヘルス対策における課題の把握や、具体的な取組方法について検討していくことは重要であり、今後も継続した啓発活動を実施していく。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後もメンタルヘルス対策に関する情報提供を実施していく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	1	DV防止に向けた啓発の推進		
取組の具体的内容	DVを防止するための講座などを開催します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	12・14
目標	項目		数値等	
	対象講座延べ受講者数		80人	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	142人	88人	－	－
実績値における 前年度からの増減理由	対象講座が1講座減少したため。また、各対象講座において、受講者数が減少したため。			
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) パートナーとのコミュニケーションについての講座や、いじめや誘拐、性暴力などから子供自身が身を守る方法をテーマにした講演会を開催した。			
	(取組の効果と課題) どの講座も受講者数が少なかったため、講座の内容だけでなく開催時間や曜日を見直し、より多くの人に啓発できる方法を検討する。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	多くの人が受講しやすい講座を企画する。オンラインの活用も検討する。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	1	DV防止に向けた啓発の推進		
取組の具体的内容	パンフレット、ホームページ、SNSなどを活用し、すいたストップDVステーション(DV相談室)等相談窓口の周知に努めます			
担当室課	すいたストップDVステーション		計画推進の指標番号	12・14
目標	項目		数値等	
	啓発冊子等の発行部数		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	Wリボンプロジェクトチラシ 8,000枚	すいたストップDVステーション 啓発用パンフレット5,000部 Wリボンプロジェクトチラシ 8,000枚	—	—
実績値における 前年度からの増減理由	在庫状況により発行する啓発冊子等の種類や発行部数が異なるため。			
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 関係室課窓口や市内公共施設等へ啓発用パンフレットを設置するとともに、ホームページ、LINEやFacebook等のSNSで情報発信を行った。 ホームページのリニューアルを行い、より市民の目に触れやすいようにした。			
	(取組の効果と課題) 相談者から、ホームページやパンフレットを見て相談に来たとの声を聞いている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	様々な媒体を通じて、すいたストップDVステーションをはじめとする各種相談窓口の周知、DV防止に向けた啓発を実施していく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	1	DV防止に向けた啓発の推進		
取組の具体的内容	パンフレット、ホームページ、SNSなどを活用し、すいたストップDVステーション(DV相談室)等相談窓口の周知に努めます			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	12・14
目標	項目		数値等	
	ホームページにて常時周知を行う		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	ホームページにて常時周知	ホームページにて常時周知	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) ホームページですいたストップDVステーションの周知を行った。 また、すいたストップDVステーション、家庭児童相談室と連携して相談先の電話番号が入ったボールペン、卓上ポップ、ティッシュを作成し啓発に努めた。			
	(取組の効果と課題) ホームページを見て相談につながるケースがあるので、被害者救済に効果的である。 また啓発グッズは、配布場所やターゲットを想定しながら作成し、効果的に周知することを心掛ける。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も必要としている方に情報が届くよう周知に努める。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	1	DV防止に向けた啓発の推進		
取組の具体的内容	若年層に向けたデートDV予防啓発を推進します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	13・14
目標	項目		数値等	
	出前授業実施校数		市内の全市立中学校(18校)	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	11校	14校	－	－
実績値における前年度からの増減理由	中学校に対して、年間を通して実施を働きかけた結果、実施を希望する校数が増えたため。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 大学生ユースリーダー及び外部講師とともに、デートDV予防啓発出前授業を市内中学校14校(15学年)で実施した。 また、高校生、大学生向けのデートDV予防啓発出前授業も実施した。			
	(取組の効果と課題) 若年層への啓発はDVだけではなくいじめやハラスメント防止の観点からも好評であり、今後も実施校数を増やしていくため、オンラインの活用も含め取り組んでいく。 ただ、中学校の中には、校内の取組により同様の内容について学習しており、当センターの出前授業を利用しないところがある。そうした学校には資料の提供を検討する。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	市内の全中学校の生徒がデートDVについて学ぶ機会を得られるよう、学校と連携して取り組む。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	1	DV防止に向けた啓発の推進		
取組の具体的内容	「暴力のない安心・安全のまち、すいた」の実現を目指し、Wリボンマークの普及に努めます			
担当室課	人権政策室		計画推進の指標番号	12・14
目標	項目		数値等	
	Wリボンマークの周知		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 吹田市内郵便局との包括連携協定の取組の1つとして、吹田郵便局及び吹田千里郵便局の集配車両にWリボンマークマグネットを貼付、市内全郵便局の窓口にWリボンプロジェクトに関する卓上POPを設置し、市民へ広く周知した。			
	(取組の効果と課題) 多くの市民や事業者が利用する郵便局に協力いただくことで、広く周知することができた。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も様々な周知方法を検討し、Wリボンマークの普及に努める。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	1	DV防止に向けた啓発の推進		
取組の具体的内容	「暴力のない安心・安全のまち、すいた」の実現を目指し、Wリボンマークの普及に努めます			
担当室課	家庭児童相談室		計画推進の指標番号	12・14
目標	項目		数値等	
	市民向け講演会の参加者数		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	16人	53人	－	－
実績値における前年度からの増減理由	イベントの周知方法を拡大し、より多くの市民に広報したため。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 児童虐待防止推進月間において、啓発用のポスターやチラシを保育園や幼稚園等に配付したほか、市民向けの講演会の開催を行うとともに、保健センターでの乳幼児健診時に児童虐待防止に関するリーフレットを配布するなど、児童虐待防止に向けた啓発活動を行いました。			
	(取組の効果と課題) 周知方法を拡大することで、参加者が大きく増加しました。吹田市民に対し、様々な場面で児童虐待防止に関する啓発活動を行うことで、児童虐待防止への意識の醸成を図ることができました。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も引き続き、児童虐待防止に向けた広報や啓発活動を行っていく必要があります。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	1	DV防止に向けた啓発の推進		
取組の具体的内容	「暴力のない安心・安全のまち、すいた」の実現を目指し、Wリボンマークの普及に努めます			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	12・14
目標	項目		数値等	
	Wリボンバッジの販売		常時	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－
実績値における前年度からの増減理由				
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) Wリボンバッジを販売し、W(ダブル)リボンマークの普及に努めている。より手に取ってもらいやすくするため、Wリボンバッジすいたんバージョンを作成し、さらなる普及に努めた。 また、児童部と連携して講演会や講座、啓発活動を集中的に行う「Wリボンプロジェクトinすいた」を11月に実施した。			
	(取組の効果と課題) SNSや市報等における周知において、市民の目につきやすい方法を検討する。 関連講座については、テーマが重くなりすぎず、市民が自分事に考えてもらえるような内容のものを企画する。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	多くの人に啓発できるよう継続して取り組んでいく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	2	相談体制の整備充実		
取組の具体的内容	研修等を通じて、相談員のスキルアップの向上に努め、配偶者暴力相談支援センターの機能を持つ「すいたストップDVステーション」の相談体制の充実を図ります			
担当室課	すいたストップDVステーション		計画推進の指標番号	12・14
目標	項目		数値等	
	研修、連絡会への参加		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	会場参加研修 9回 オンライン研修 1回 府内DV会議出席 3回	会場参加研修 9回 オンライン研修 1回 府内DV会議出席 3回	—	—
実績値における前年度からの増減理由				
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 大阪府が実施する研修に参加し、相談員のスキルアップに努めた。また、府内の市町村が出席する連絡会議において、他市町村の相談体制やDV防止の取組について意見交換を行った。			
	(取組の効果と課題) 研修で学んだ内容を生かして相談業務にあたっている。大阪府や他市町村との交流が図られていることで、困難事例の対応等について、情報交換を行いやすい関係が構築されている。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も研修や連絡会議に積極的に参加し、DV被害者支援に生かしていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	2	相談体制の整備充実		
取組の具体的内容	DV相談担当者や各室課の窓口対応者への研修の実施及び弁護士・警察等との連携の強化に取り組みます			
担当室課	人権政策室		計画推進の指標番号	14
目標	項目		数値等	
	DV防止ネットワーク会議の開催回数		(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回	(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回	—	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 弁護士や警察等の関係機関が出席する吹田市DV防止ネットワーク会議代表者会においてDVの事例報告を行い、情報を共有した。DV防止ネットワーク実務担当者会議では大阪府の職員による研修を実施し、意見交換の場を設けた。			
	(取組の効果と課題) 情報共有を行うことにより、DV被害者の支援にあたってスムーズに対応してもらうことができている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も法改正に伴う研修や事例報告などを実施し、関係室課との連携強化に努める。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	2	相談体制の整備充実		
取組の具体的内容	日本語が話せない相談者のために通訳等の適切なサポートを行います			
担当室課	文化スポーツ推進室		計画推進の指標番号	14
目標	項目		数値等	
	行政通訳窓口同行		100件	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	104件	103件	－	－
実績値における前年度からの増減理由	令和3年度までは新型コロナウイルス感染症の影響により依頼件数が減少していたが、令和4年度以降は新型コロナウイルス感染症による制限が緩和されてきたこと等により、件数が増加している。令和5年度についても令和4年度と同水準である。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 【コミュニティ通訳ボランティア同行事業】 ・対応言語にアラビア語を追加し、8か国語の通訳を行えるようにした。 【吹田市多文化共生ワンストップ相談センター運営事業】 ・在留手続や雇用、医療等、日常生活の中で必要な情報の提供及び相談を多言語で行うワンストップ型の相談窓口「吹田市多文化共生ワンストップ相談センター」について、リーフレットを用いて再度関係機関へも広く周知した。 (取組の効果と課題) 【コミュニティ通訳ボランティア同行事業】 ・職員と外国籍市民等(利用者)との意思疎通が正確かつ円滑に行われることにより、利用者が公平なサービスを受けることができた。 ・時間外(土曜日や夜間等)での利用が増加しているため、利用時間について検討する必要がある。 【吹田市多文化共生ワンストップ相談センター運営事業】 ・相談内容より、適切な機関へとスムーズにつなぐことができるようになった。 ・HPでの行政情報の発信について強化する必要がある。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、継続する。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	2	相談体制の整備充実		
取組の具体的内容	相談事例から支援者のスキルアップを図り、相談者へのフィードバックにつなげます。また、被害者支援に関わる相談員等の意見交換の場を設けます			
担当室課	人権政策室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	DV防止ネットワーク会議の開催回数		(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回	(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回	—	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 吹田市DV防止ネットワーク会議代表者会においてDVの事例報告を行い、情報を共有した。 DV防止ネットワーク実務担当者会議では大阪府の職員による研修を実施し、意見交換の場を設けた。			
	(取組の効果と課題) 事例報告や意見交換を行うことで相談や支援の内容をイメージしてもらいやすくなり、被害者支援に関わる相談員のスキルアップにつながっている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	より具体的な事例紹介を行うことで、各相談機関の支援員のスキルアップを図る。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	2	相談体制の整備充実		
取組の具体的内容	相談事例から支援者のスキルアップを図り、相談者へのフィードバックにつなげます。また、被害者支援に関わる相談員等の意見交換の場を設けます			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	相談事業担当者連絡会議の実施		年2回開催	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2回	2回	－	－
実績値における前年度からの増減理由				
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 相談事業の担当者連絡会議を年度内に2回行い、相談員同士の情報共有とスキルアップを図った。			
	(取組の効果と課題) 日々の細かな情報共有は担当職員と相談員間で行っている。また、年2回、全員が顔を合わせて会議を行うことにより、相談内容の傾向についてやケース検討などの討論を深め、よりよい相談対応につなげている。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も定期的に相談事業担当者連絡会議を行い、相談事業の充実を図っていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	2	相談体制の整備充実		
取組の具体的内容	相談窓口について、民生委員・児童委員への情報提供、周知を図ります			
担当室課	福祉総務室		計画推進の指標番号	12・14
目標	項目		数値等	
	民生委員・児童委員の新任研修受講率		100%	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	100.0%	100.0%	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 民生委員・児童委員に対し、新任研修等の機会をとらえて、DV相談窓口を含めた福祉サービス全般の相談体制に関する情報提供を行った。また、吹田市民生・児童委員協議会にて、子ども見守り家庭訪問事業実施時に配布するPR用ウェットティッシュを作成した。このデザインについて、Wリボンを持ったすいたんに「心配ごと・悩みごとは、地域の民生委員・児童委員にお気軽にご相談を」という文言を添え民生委員・児童委員を啓発した。また11月には同様のデザインのバンドエイドを市内中学生に配付した。			
	(取組の効果と課題) 民生委員・児童委員が要支援者の相談に対し、DV等の相談窓口に適切につなぐことができるよう、定期的に情報提供を行う必要がある。上記のPR物品の配付について、令和6年度からは廃止するが、代替の取組内容については、委員の意見も聞きつつ検討する必要がある。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き、民生委員・児童委員に対し相談体制に関する情報提供・周知を行う。また、市民に対し相談窓口を周知する取組を行う。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	2	相談体制の整備充実		
取組の具体的内容	高齢者、障がい者への虐待防止施策などと連携した相談体制の構築を図ります			
担当室課	人権政策室		計画推進の指標番号	14
目標	項目		数値等	
	DV防止ネットワーク会議の開催回数		(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回	(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回	—	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 吹田市DV防止ネットワーク会議代表者会においてDVの事例報告を行い、情報を共有した。 DV防止ネットワーク実務担当者会議では大阪府の職員による研修を実施し、意見交換の場を設けた。			
	(取組の効果と課題) 事例報告や意見交換を行うことで相談や支援の内容をイメージしてもらいやすくなり、被害者支援に関わる相談員のスキルアップにつながっている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も法改正に伴う研修や事例紹介などを実施し、関係室課との連携強化に努める。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	2	相談体制の整備充実		
取組の具体的内容	高齢者、障がい者への虐待防止施策などと連携した相談体制の構築を図ります			
担当室課	障がい福祉室		計画推進の指標番号	14
目標	項目		数値等	
	虐待防止に係る相談体制の構築		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 障がい者等への虐待防止の取組の中で、児童、高齢者が関わっている場合は、関係部署、関係機関と連携し対応している。			
	(取組の効果と課題) 障がい者、児童、高齢者の虐待対応に関しては、根拠法令が異なるが虐待者と被虐待者の状況等により、適切に対応し連携する必要がある。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き、関係部署、関係機関との連携を強化する。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	2	相談体制の整備充実		
取組の具体的内容	高齢者、障がい者への虐待防止施策などと連携した相談体制の構築を図ります			
担当室課	高齢福祉室		計画推進の指標番号	14
目標	項目		数値等	
	支援の当初からすいたストップDVステーションの他、庁内関係部署や関係機関と情報共有のうえ役割分担して連携する。		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における前年度からの増減理由				
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 65歳以上の高齢者に関する虐待の相談については、原則として地域包括支援センターが支援を行っているが、介護等の必要のない高齢者に関するDV対応については、すいたストップDVステーションと連携して支援を行った。			
	(取組の効果と課題) 支援の当初からすいたストップDVステーションの他、庁内関係部署や関係機関と情報共有のうえ役割分担して連携することによって、迅速かつ効果的な支援につなげた。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、庁内関係部署や関係機関との連携を強化する。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	2	相談体制の整備充実		
取組の具体的内容	大阪府・他市町村との連携を強化し、情報交換・事例検討会等を通じて、相談員のスキルアップを図り、相談体制の充実に努めます			
担当室課	人権政策室		計画推進の指標番号	14
目標	項目		数値等	
	大阪府等が実施する連絡会への参加		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	情報交換・事例検討会出席 1回 府内DV会議出席 3回	情報交換・事例検討会出席 1回 府内DV会議出席 3回	—	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 府内の市町村が出席する連絡会議において、他市町村の相談体制やDV相談の対応状況等について意見交換を行った。			
	(取組の効果と課題) 他市町村の事例を参考に、業務の見直しや相談スキルの向上を図ることができる。大阪府や他市町村とのつながりができることで、困難事例への対応等の問い合わせや避難時の引継ぎがしやすい関係が構築されている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も大阪府や他市町村との情報交換を行い、DV被害者支援に生かしていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	2	相談体制の整備充実		
取組の具体的内容	大阪府・他市町村との連携を強化し、情報交換・事例検討会等を通じて、相談員のスキルアップを図り、相談体制の充実に努めます			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	14
目標	項目		数値等	
	必要に応じて大阪府・他市町村と連携を行う		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	連携ケースなし	連携ケースなし	－	－
実績値における前年度からの増減理由				
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 共有すべき大阪府・他市町村からの情報は相談員に周知している。 具体的な連携を行うケースは現状では発生していないが、必要に応じて対応していく。			
	(取組の効果と課題) 相談員に府の相談機関等を周知することで、相談者に対して適切な情報を伝えることができている。			
取組に対する事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	具体的な連携を行った相談ケースは無いが引き続き情報共有の連携は続けていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	3	児童虐待防止対策との連携強化		
取組の具体的内容	DV防止及び児童虐待防止に向けて、関係部局が連携して取組を進めます			
担当室課	人権政策室		計画推進の指標番号	14
目標	項目		数値等	
	DV防止ネットワーク会議の開催回数		(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回	(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 吹田市DV防止ネットワーク会議代表者会においてDVの事例報告を行い、情報を共有した。 DV防止ネットワーク実務担当者会議では大阪府の職員による研修を実施し、意見交換の場を設けた。			
	(取組の効果と課題) 事例報告や意見交換を行うことで相談や支援の内容をイメージしてもらいやすくなり、被害者支援に関わる相談員のスキルアップにつながっている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も法改正に伴う研修や事例紹介などを実施し、関係室課との連携強化に努める。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	3	児童虐待防止対策との連携強化		
取組の具体的内容	DV防止及び児童虐待防止に向けて、関係部局が連携して取組を進めます			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	14
目標	項目		数値等	
	関係部署との連携		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における前年度からの増減理由				
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) DV防止ネットワーク会議の代表者会と実務担当者会に参加し、関係部署との連携を図っている。 また、日々の相談業務内で、連携の必要な案件があれば、案件毎に直接関係部署に連絡し、情報共有し、連携を図っている。			
	(取組の効果と課題) DV防止ネットワーク会議に参加することにより、幅広い情報を得ながら連携を図り、個別の案件の対応にも生かしている。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も、DV防止ネットワーク会議等で関係部署との連携を図っていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	3	児童虐待防止対策との連携強化		
取組の具体的内容	DV防止及び児童虐待防止に向けて、関係部局が連携して取組を進めます			
担当室課	家庭児童相談室		計画推進の指標番号	14
目標	項目		数値等	
	吹田市児童虐待防止ネットワーク会議の開催数		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	代表者会議 1回 全実務者会議 1回、研修 2回 実務者会議 24回	代表者会議 1回 全実務者会議・研修 各1回 実務者会議 24回	－	－
実績値における 前年度からの増減理由	例年全実務者研修は1回開催だが、令和4年度はヤングケアラー支援が家庭児童相談室における課題となっていたことから、その内容の研修を一回追加で行ったため。			
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 児童虐待を含む家庭児童相談について、吹田市児童虐待防止ネットワーク会議を中心に関係機関と連携して、情報や支援方針を共有しながら支援を行いました。			
	(取組の効果と課題) 代表者会議や実務者会議等を通して、関係機関との情報共有を行うなど連携強化を図りました。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も引き続き、吹田市児童虐待防止ネットワーク会議を中心に、関係機関との連携強化に努めます。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	3	児童虐待防止対策との連携強化		
取組の具体的内容	関係機関の効果的な連携を可能にする児童虐待防止ネットワークの体制強化のため、研修などを実施します			
担当室課	家庭児童相談室		計画推進の指標番号	14
目標	項目		数値等	
	実務者を対象にした研修の開催件数		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2件	1件	－	－
実績値における前年度からの増減理由	例年全実務者研修は1回開催だが、令和4年度はヤングケアラー支援が家庭児童相談室における課題となっていたことから、その内容の研修を一回追加で行ったため。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 関係機関の効果的な連携を可能にし児童虐待防止ネットワークの体制を強化するため、吹田市児童虐待防止ネットワーク会議の構成機関の全実務者を対象に研修を開催しました。 令和5年度はアセスメント力の向上や子供へのケア力の向上を目的とし「虐待による子供の影響、心理症状、子どものケアについて」をテーマに研修を行いました。			
	(取組の効果と課題) 例年1回開催する研修を通して、児童虐待防止ネットワーク会議の役割や、虐待を受けている児童について、児童の各所属先での見守り、支援、アセスメント等を学ぶことができました。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	児童虐待に関する相談については、各関係機関が連携しながら迅速かつ適切に対応することが求められます。今後も引き続き、効果的な研修内容を検討しながら、研修会を通じ実務者の対応スキル向上に取り組めます。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化		
取組の具体的内容	相談者の個人情報保護及び支援者間の情報共有を徹底し、相談機関による二次被害を防止します			
担当室課	すいたストップDVステーション		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	DV相談における同行支援		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 相談者の状況を聞き取り、支援を行う上で関係部署との連携が必要な場合は担当者に同席を求め、支援者間での情報共有に努めた。 また、相談者が他室課で必要な手続を行う際に、窓口への同行支援を積極的に行った。			
	(取組の効果と課題) 窓口への同行支援や関係部署が同席して相談にあたることで支援者間での情報共有を行うことができ、相談者の精神的負担を軽減できている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も関係部署と連携して相談者の負担軽減に努める。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化		
取組の具体的内容	相談者の個人情報保護及び支援者間の情報共有を徹底し、相談機関による二次被害を防止します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	相談者情報の適正管理		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における前年度からの増減理由				
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 電話相談、悩み・DV相談、法律相談において、業務の手順を守り、相談記録等の管理を厳格に行っている。 また、必要な関係機関との連携においては、個人情報の保護に留意しながら行っている。			
	(取組の効果と課題) すいたストップDVステーションや家庭児童相談室と連携を取ることが多く、相談者の情報を共有することにより多角的な支援につながっている。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も個人情報の保護に留意しながら、相談者にとって最適な支援を行っていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化		
取組の具体的内容	緊急時における一時保護体制の充実に努めます			
担当室課	すいたストップDVステーション		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	一時保護件数		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1件	3件	－	－
実績値における前年度からの増減理由	相談者からの緊急避難の申出によるため。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 一時保護施設への入所に際しては、聞き取りシートやチェックシートを活用して一時保護施設への引継ぎがスムーズに行えるように対応した。避難にあたって必要な手続については関係室課と連携し、相談者の負担を軽減するよう配慮した。			
	(取組の効果と課題) 相談者の負担を軽減し、安全に避難ができる体制を整えることができている。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も緊急時に速やかに対応できるよう、チェックシート等のツールの充実を図る。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化		
取組の具体的内容	緊急時における一時保護体制の充実に努めます			
担当室課	生活福祉室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	支援対象者の状況に応じて、迅速かつ適切な支援を行う。		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	DV被害者の 保護開始件数19	DV被害者の 保護開始件数27	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 今後も関係機関と連携し、必要な支援・保護を行っていく。			
	(取組の効果と課題) 緊急で避難してきた被害者等に対し、経済的な面で支援ができています。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き、支援対象者の状況に応じて、迅速かつ適切な支援を行う。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化		
取組の具体的内容	緊急時における一時保護体制の充実に努めます			
担当室課	障がい福祉室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	緊急時における避難場所の確保		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 緊急時における避難場所の確保については、短期入所施設の提供や宿泊施設利用における予算を確保している。本人の状況、状態に応じて病院等の入所先を探して、本人の安全確保を図っている。			
	(取組の効果と課題) 障がい者の状態は、身体障がい、知的障がい、精神障がいにより大きく異なり、本人の状態に応じた安全確保先が必要である。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	本人の状況、状態に応じた安全に過ごせる場所の確保を行っていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化		
取組の具体的内容	緊急時における一時保護体制の充実に努めます			
担当室課	高齢福祉室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	高齢者虐待対応短期入所生活介護事業の利用件数		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	0件	2件	－	－
実績値における前年度からの増減理由	高齢者の状況に応じて適切に自宅からの避難と、自立の促進に取り組んだ。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 市と地域包括支援センターの高齢者虐待担当者に事業の内容について周知し、適切に活用できるよう研修している。			
	(取組の効果と課題) 高齢者虐待の内容に応じて高齢者の意思を尊重し、2件について安心安全な生活を送るための避難を講じ、自立を促進することができた。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	セーフティネット事業として、継続していく。 市と地域包括支援センターの高齢者虐待担当者に事業の内容について周知し、適切に活用していく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化		
取組の具体的内容	被害者保護のための住民基本台帳の閲覧制限や情報システム連携強化による関係機関との情報の共有を徹底します			
担当室課	すいたストップDVステーション		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	支援措置の意見付与件数		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	62件	67件	－	－
実績値における前年度からの増減理由	相談者からの申出により判断するため。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) DVを理由とする住民基本台帳閲覧制限の申出があった際は、市民課の担当者と同席して被害状況等の聞き取りを行い、支援措置のための意見付与を実施している。			
	(取組の効果と課題) 支援措置のための意見付与を行うことでDV被害者の安全が確保されている。市民課の担当者と同席して聞き取りを行うことにより相談者の精神的負担を軽減することができている。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も被害状況等を丁寧に聞き取り、必要に応じて支援措置のための意見付与を行いDV被害者の安全確保に努める。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化		
取組の具体的内容	被害者保護のための住民基本台帳の閲覧制限や情報システム連携強化による関係機関との情報の共有を徹底します			
担当室課	市民課		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	支援措置(新規及び延長)申出件数		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	350件	386件	－	－
実績値における前年度からの増減理由	支援措置の継続申出及び新規申出件数が増加したため。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 住民基本台帳事務処理要領に基づき、制度の説明を丁寧に行い、申出者にとって本制度の必要性を理解してもらうことを心掛け、事業を実施しました。また、転入や戸籍の届のため来庁された際に支援措置申出者であることが各担当へ伝わるよう徹底するとともに、支援措置担当者を増員し、いつでも制度の説明や相談が行えるよう体制の強化を図りました。			
	(取組の効果と課題) 必要な方に必要な情報提供を行い、制度の適正な運用に取り組みました。ただし、継続の意思確認が取れない方も増加しており、適正な運用方法の構築が必要と考えます。また、申出件数とともに相談件数、電話での問い合わせも併せて増加しており、支援措置に係る相談時間や事務処理が増大し、体制の強化を今後も図っていく必要があります。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	全国的にも支援措置制度に関する情報が一般的に周知され、本市の支援措置件数は増加傾向にあります。ただし、単に誰でも「住所が知られないようにできる制度」と誤解され来庁されるケースも増加しており、着実に必要な方が利用できるよう制度説明等において市民課職員のスキルアップを図るとともに、関係各課・機関との連携を強化し、被害者保護に向け支援体制の充実を図っていきます。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化		
取組の具体的内容	被害者の状況把握とニーズに沿った情報提供の充実を図り、自立に向け支援します			
担当室課	すいたストップDVステーション		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	DV相談件数		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	651件	730件	－	－
実績値における 前年度からの増減理由	相談者からの支援の申し出によるため。			
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 相談内容を丁寧に聞き取り、それぞれの状況に応じて必要な情報の提供や支援を行った。他市からの転入者には、必要な手続きが見える化できるよう、手続チェックシートを作成し活用した。			
	(取組の効果と課題) 相談者それぞれの状況に応じた支援を適切に行うことができている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も丁寧な聞き取りを心掛け、相談者のニーズに沿った支援に努める。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化		
取組の具体的内容	被害者の状況把握とニーズに沿った情報提供の充実を図り、自立に向け支援します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	傾聴カフェ及び傾聴電話の開催回数		24回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	24回	24回	－	－
実績値における前年度からの増減理由				
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 月に1回ずつ傾聴カフェと傾聴電話を開催し、男女共同参画センターの各種相談を補完する形でDV被害者等のフォローを行っている。また、必要に応じて関係機関との連携を図っている。			
	(取組の効果と課題) 傾聴カフェ及び傾聴電話の認知度が低く、利用者が少ないため、周知の工夫が必要である。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	傾聴カフェ及び電話の利用者を増やし、DV被害者等の潜在的な掘り起こしを図るとともに、状況把握やニーズをつかみ、自立への一助としたい。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化		
取組の具体的内容	福祉制度の活用等、生活支援から自立へつながるような体制を強化します			
担当室課	生活福祉室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	支援対象者の状況に応じて、迅速かつ適切な支援を行う。		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	DV被害者の 保護開始件数19	DV被害者の 保護開始件数27	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 今後も関係機関と連携し、必要な支援・保護を行っていく。			
	(取組の効果と課題) 緊急で避難してきた被害者等に対し、経済的な面で支援ができています。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き、支援対象者の状況に応じて、迅速かつ適切な支援を行う。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化		
取組の具体的内容	福祉制度の活用等、生活支援から自立へつながるような体制を強化します			
担当室課	高齢福祉室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	地域の高齢者やその家族の総合相談窓口として、地域包括支援センターが迅速かつ適切なサービス提供につなげる。		令和6年度末 33,745件、 令和7年度末 36,230件(第9期計画目標)	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	28,774件	31,724件	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 市内15か所の委託型地域包括支援センターが、地域の高齢者やその家族の総合相談窓口として介護、健康、生活、在宅療養や認知症の相談に対応している。また、介護保険制度や高齢者在宅福祉サービスの申請について、地域に身近な受付窓口としての機能を担っている。			
	(取組の効果と課題) 地域の高齢者やその家族の身近な相談窓口として、サービス利用の相談から申請までをワンストップで受け付けることで迅速かつ適切なサービス提供につなげている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き上記取組を継続する。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化		
取組の具体的内容	福祉制度の活用等、生活支援から自立へつながるような体制を強化します			
担当室課	障がい福祉室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	被害者保護と自立支援の強化		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 市内6ブロックに設置している障がい者相談支援センターにおいて、障がい者等の福祉に関する各般の問題や困りごとや虐待の早期発見に向けた相談対応を実施。また、相談支援の中核的役割として後方支援を行っている基幹相談支援センターに虐待防止センターを併設し、虐待対応から自立に向けた支援を実施した。			
	(取組の効果と課題) 障がい者等の多様な相談に対応する中で、虐待防止や福祉サービスの活用や生活支援から自立に向けた支援を行っている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	関係機関との連携強化、相談員等の技術向上を図ることで、支援体制を強化します。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化		
取組の具体的内容	福祉制度の活用等、生活支援から自立へつながるような体制を強化します			
担当室課	国民健康保険課		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	被害者の社会保障及び保健の向上に寄与する。		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	対応件数 国民健康保険 18件 後期高齢者医療 4件	対応件数 国民健康保険 20件 後期高齢者医療 5件	—	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 被害者の健康保険届出事務において、秘密保持を図るため、システム上に注意喚気フラグを立て、重要案件については加害者からの問い合わせ等への具体的対応方法を入力し、情報の共有化を図っている。			
	(取組の効果と課題) 窓口担当者、問い合わせを受けた担当者は必ずフラグの内容を確認し、DV等関連部署との情報連携を図ることができている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き、必要な情報の共有化を実施します。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化		
取組の具体的内容	経済的な自立に向けた就労支援を充実します			
担当室課	地域経済振興室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	就労支援講座を開催		2種類以上	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	①調剤事務講座:8名 ②介護職員初任者研修:6名 ③ビジネスパソコン講座:15名	①CAD利用技術者:2名 ②介護職員初任者研修:8名 ③ビジネスパソコン講座:14名	—	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 働く意欲がありながら、様々な課題を抱える就職困難者に対し、就職に必要な技能及び知識を身につけるための就職支援講座を実施。			
	(取組の効果と課題) DV被害者のみに限らず、様々な課題を抱える就職困難者が、講座受講によって技能及び知識を身につけることで経済的な自立に直接的に結びつく事業として有益であると考える。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も引き続き就職支援講座を実施していく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化		
取組の具体的内容	離婚前相談を実施し、ひとり親世帯等への自立支援を充実します			
担当室課	子育て給付課		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	一人ひとりに寄り添った相談を行っていく。		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	離婚前相談件数 153件	離婚前相談件数 276件	－	－
実績値における前年度からの増減理由	様々な家庭事情により離婚を検討する世帯が増加したことや、相談先としての周知がより広まったことが増加の理由と考えられる。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 母子・父子自立支援員による、ひとり親家庭や寡婦の方の自立に必要な情報の提供や指導、貸付金の相談を実施した。 就業支援専門員によるひとり親家庭や寡婦の方の就業に関する相談を実施した。			
	(取組の効果と課題) ひとり親家庭の方の個々の事情に応じた就職、転職や資格取得等に関する助言・情報提供を行うことにより、自立やスキルアップ、就労につながっている。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	ひとり親家庭の方が経済的に安定し自立できるよう、今後もハローワークや庁内関係所管との連携を強化しながら、的確な助言・情報提供に努める必要がある。児童扶養手当の手続き時など、本人の状況を聞き取りし、就労支援につなげることができる機会を活かして、支援につなげていくことも肝要である。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化		
取組の具体的内容	被害者の自立した生活に向け、住宅の提供に関する支援に努めます			
担当室課	住宅政策室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	DV被害者が応募できる「ひとり親世帯向け」募集戸数		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	14戸	4戸	－	－
実績値における前年度からの増減理由	退去等により募集可能となった部屋の戸数及び間取り等の条件により、提供戸数が増減します。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 市営住宅入居者募集にあたり、令和5年度は募集戸数40戸のうち、DV被害者が申込できる「ひとり親世帯向け」住居4戸を提供しました。			
	(取組の効果と課題) 効果:居住が安定することで、自立した生活につながります。 課題:空き住戸の提供のため、募集時期により戸数の増減が発生します。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も引き続き、DV被害者が応募できる住宅を提供します。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化		
取組の具体的内容	安定した生活が維持できるよう、子供のこころのケアを含めた被害者の家庭生活への継続した支援や情報提供に努めます			
担当室課	家庭児童相談室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	児童虐待相談件数		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1,845件	2,113件	－	－
実績値における前年度からの増減理由	児童虐待相談件数は死亡事案等を契機に全国的な増加傾向にあり、本市における児童虐待相談件数も関係機関の児童虐待防止に対する意識や感度の向上から増加しました。 また、関係機関との連携を強く情報共有を密にしたことも件数増加の要因の一つと考えられます。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 児童虐待相談件数の内訳は、身体的虐待504件、性的虐待22件、心理的虐待1,126件、ネグレクト461件となります。 児童の面前でのDVは児童に対する心理的虐待にあたり、その心的外傷から、児童の発達や成長に悪影響が及びます。これらの相談に対しては、まずは児童の状況を確認し、関係機関と情報を共有しながら、必要な支援や養育者に対する指導を行いました。			
	(取組の効果と課題) 対応件数が増加していく中でも、関係機関と連携し、迅速に対応することができましたが、今後は職員の増員を図る必要があります。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	児童虐待相談に対し、早期に発見し、適切な対応ができるよう、引き続き、関係機関との連携強化に取り組み、職員のスキル向上を図ります。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化		
取組の具体的内容	安定した生活が維持できるよう、子供のこころのケアを含めた被害者の家庭生活への継続した支援や情報提供に努めます			
担当室課	のびのび子育てプラザ		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	相談件数		1,300件	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1,341件	1,102件	－	－
実績値における前年度からの増減理由	相談体制に変更はないが、電話・来館・メールでの相談がともに減少したため。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) コンシェルジュだよりや吹田版ネウボラのリーフレットの作成で周知をすすめた。 令和5年度からオンラインでの相談を開始。			
	(取組の効果と課題) 電話・来館・メールでの相談を受け、安心して子育てできるように、助言や必要な情報を提供している。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	来館できない方が相談しやすいように、また自由来館で遊びに来られる中で気軽に相談できるようにしながら、引き続き実施する。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化		
取組の具体的内容	安定した生活が維持できるよう、子供のこころのケアを含めた被害者の家庭生活への継続した支援や情報提供に努めます			
担当室課	教育センター		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	市内保育所・幼稚園 市立小・中学校への 教育相談チラシの配布率		100%	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	100.0%	100.0%	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 市内保育所・幼稚園、市立小・中学校への教育相談チラシの配布			
	(取組の効果と課題) 教育センターの事業である教育相談について周知することができている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も継続してチラシの配布を進めていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	5	DV加害者の更生支援		
取組の具体的内容	DV加害に対する気づきを促すための啓発や、各種相談窓口の情報提供を行います			
担当室課	すいたストップDVステーション		計画推進の指標番号	12
目標	項目		数値等	
	相談窓口の周知		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) DV加害者からの相談に対して、必要に応じて男性のための相談窓口を案内するほか、加害者プログラム等について情報提供を行った。			
	(取組の効果と課題) 現状では被害者に対する支援が中心となっており、加害者に対するアプローチや効果的な更生支援については研究が必要である。			
取組に対する 事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	国や府が実施する加害者プログラムに関する動向に注視し、情報収集に努める。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援		
主な取組	1	思春期における心とからだの健康づくりの推進		
取組の具体的内容	性感染症、避妊やエイズ予防等のための啓発活動を行います			
担当室課	保健給食室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	大阪府・国からの通知文書を配付して、「世界エイズデー」等の周知を図る		4回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	4回	5回	－	－
実績値における前年度からの増減理由	大阪府・国(文部科学省及び厚生労働省)からの通知が増加したため(HPVワクチンの積極的勧奨の再開に伴うものを含む)。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 大阪府・国(文部科学省及び厚生労働省)からの通知文書を配付し、「世界エイズデー」等について、各校の教職員及び児童・生徒への周知を行った。 また、厚生労働省作成のHPVワクチンに関するリーフレットを活用したポスターを各中学校に配付するとともに掲示を依頼し、HPVワクチンの公費接種について情報提供を行った。			
	(取組の効果と課題) 「世界エイズデー」等については、継続して周知を行っているため、認知度は高まってきている。 HPVワクチンについては、一時的に積極的勧奨を差し控えていた経緯もあり、教職員や保護者の捉え方は様々であるため、今後の取組(児童・生徒への周知等)については慎重に検討する必要がある。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も継続して、教職員及び児童・生徒の意識啓発に努める。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援		
主な取組	1	思春期における心とからだの健康づくりの推進		
取組の具体的内容	性感染症、避妊やエイズ予防等のための啓発活動を行います			
担当室課	青少年室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	心身及び健康について正しい知識を習得し、適切な自己管理を行う		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	二十歳を祝う式典参加者 2,800人	二十歳を祝う式典参加者 2,800人	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 二十歳を祝う式典における啓発活動については、リーフレット等の情報をポータルサイトにまとめ、情報を配信しました。 令和5年度は、性感染症に関する啓発として、「今と未来を 楽しく 生きるための20歳からのヘルスケア」「梅毒感染者が急増中！あなたは大丈夫？？HPVワクチンを受けましょう」の情報を掲載しました。 夢つながり未来館では、リーフレット「おおさかエイズ情報Now」を配置しました。			
	(取組の効果と課題) 二十歳を祝う式典等に限らず、思春期における心とからだの健康づくりについて、さらなる学習の機会を提供する必要がある。			
取組に対する 事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き、二十歳を祝う式典における取り組みに限らず、夢つながり未来館において常時リーフレットによる周知を行いながら、さらなる学習の機会を提供する。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援		
主な取組	2	妊娠・出産期における健康支援		
取組の具体的内容	産前・産後の切れ目ない支援を実施するため、助産師等による面接や継続的なフォローの実施に努めます			
担当室課	すこやか親子室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	妊娠届出時等の面接率		100%	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	91.7%	100.0%	－	－
実績値における前年度からの増減理由	令和5年2月より開始した出産・子育て応援事業の伴走型相談支援により、全数面接が実現した。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 令和5年2月より開始した出産・子育て応援事業で妊娠期と出産後に面談を行い、妊娠・出産・子育てに関する情報提供や相談を行い、支援を要する妊産婦には関係機関につなぐなど、切れ目ない支援を実施している。			
	(取組の効果と課題) 出産・子育て応援事業により妊産婦の面談率が増加した。これまで以上に妊産婦への子育て等に関する情報提供や支援が可能となり、切れ目ない支援体制が充実している。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、実施。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援		
主な取組	2	妊娠・出産期における健康支援		
取組の具体的内容	妊娠・出産に関わる機能の保護や、喫煙や飲酒が胎児や乳児に及ぼす影響について周知・啓発を行います			
担当室課	すこやか親子室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	妊娠届出時面接での妊婦への禁煙指導実施件数		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	33件	21件	－	－
実績値における前年度からの増減理由	妊娠届出で把握した喫煙妊婦21名に対して、禁煙指導を実施している。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 妊娠届出時に喫煙・飲酒をしている妊婦に対して保健師、助産師が指導を行っている。喫煙についてはその後も助産師が電話にて妊婦に継続指導を行い、状況確認も行っている。			
	(取組の効果と課題) 妊娠時だけの指導でなく、妊娠前からの禁煙啓発が重要であるとする。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、実施。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援		
主な取組	3	成人、高齢期における健康づくりの推進と介護予防の普及啓発の推進		
取組の具体的内容	女性を中心に広く健康づくりを支援するため、情報提供の充実を図り、疾病の予防啓発に努めます			
担当室課	健康まちづくり室、地域保健課、高齢福祉室		計画推進の指標番号	16
目標	項目		数値等	
	健康に関する講演実施件数		21件	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	26件	32件	－	－
実績値における前年度からの増減理由	実施した教室等の実施方法を変更したことにより、件数のカウント基準が変更されたため。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 各所管にて様々なテーマ(たばこ・アフターコロナにおけるこころの健康づくり・難病・フレイル等)で講演・教室等を開催した。 加えて、女性特有の健康問題をテーマとしたイベント(講演、実践講座、健康啓発ブース等)を開催した。			
	(取組の効果と課題) 参加者が健康行動について考える機会を作ることができた。 一方、女性特有の健康問題をテーマとしたイベントでは、女性向けのイベントと銘打ったため、男性が参加しにくいとの意見もあった。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き市民の方を対象に疾病の予防のために様々な方法を用いて啓発を行っていく。開催時期や会場についてはより多くの市民の方に参加していただけるよう引き続き検討していく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援		
主な取組	3	成人、高齢期における健康づくりの推進と介護予防の普及啓発の推進		
取組の具体的内容	女性を中心に広く健康づくりを支援するため、情報提供の充実を図り、疾病の予防啓発に努めます			
担当室課	成人保健課		計画推進の指標番号	16
目標	項目		数値等	
	①子宮がん検診受診率(市民意識調査※) ②乳がん検診受診率(市民意識調査※)		市民意識調査(令和8年度) ①60% ②60%	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	市民意識調査 子宮頸がん検診 50.5% 乳がん検診 49.7%。	—	—	—
実績値における前年度からの増減理由	市民意識調査は4年に一度の調査であり、毎年度の増減比較はできない。前回市民意識調査(平成30年度 子宮頸がん35.4% 乳がん 33.7%)との受診率の比較では令和4年度は増加している。市のがん検診の受診率に大きな変化は見られないことから、職場で実施されるがん検診や人間ドックでの受診者の増加が推察される。※調査結果から子宮20～69歳、乳40～69歳の受診率を計算したもの。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) ・国立がん研究センターが作成したがん検診受診勧奨資材(ナッジ理論に基づき作成され、視認性が高く、年代別に検診の重要性が記載されている。)を用いて個別受診勧奨を郵送。検診受診の必要性や受診方法をわかりやすく記載したガイドブックを作成し、市報すいたと併せて全戸配布した。また、ホームページやSNS、LINEセグメントを活用して健康診査やがん検診受診の必要性について啓発に努めた。 ・生涯を通じた女性の健康づくりについて、市報すいた2月号に掲載したほか、ホームページを刷新した。			
	(取組の効果と課題) 就労の有無に関わらず、子宮がん検診、乳がん検診の個別受診勧奨通知を実施することにより、市民のがん検診受診を含めたがん予防についての啓発を実施することができた。 市民意識調査は4年に一度の調査であり、毎年度の評価は困難。職場や人間ドックで受診したがん検診受診は確認手段がなく、市民意識調査以外での実態把握はできない。			
取組に対する事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き女性特有の疾病について関係機関や関係室課と連携し、正しい知識の情報提供を男女問わず進めていく。 がん検診や人間ドック利用からの早期発見や治療技術の進歩により、がん治療と社会参加の両立に対する支援も重要となっている。医療専門職の支援技術の向上や、がん患者の社会参加に対する支援について取組を進めていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援		
主な取組	3	成人、高齢期における健康づくりの推進と介護予防の普及啓発の推進		
取組の具体的内容	喫煙、飲酒等が健康に及ぼす影響についての認識の普及に努めます			
担当室課	成人保健課		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	①喫煙率(市民意識調査※) ②多量飲酒者の割合(吹田市30歳代健康診査及び吹田市国保健康診査問診結果)		①男性15.0%以下、女性5.0%以下 ②男性1.7%以下、女性0.22%以下	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	①男性21.7% 女性7.4% ②男性2.4% 女性0.35%	① — ②男性2.5% 女性0.36%	—	—
実績値における前年度からの増減理由	①について、市民意識調査は4年に一度の調査かつ、前回調査時に喫煙に関する設問がないため、増減比較はできない。令和元年度国民栄養調査における喫煙率(男性27.1%、女性7.6%)との比較では吹田市民の喫煙率は低い。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 禁煙治療に係る医療費の自己負担額助成制度を行い、禁煙の取組を支援するとともに、禁煙開始届出者へは再喫煙防止のための通知や保健師による個別支援を実施した。また、健康診査受診者を対象とした各種保健指導を活用し、禁煙や多量飲酒防止のための個別指導を必要に応じて実施した。啓発の取組として、アルコールをテーマに民間事業者と連携した市民健康教室を実施。市ホームページを活用した禁煙の啓発やアルコールに関する啓発を実施。禁煙の啓発については母子保健事業と連携した取組を実施。			
	(取組の効果と課題) 様々な機会を捉え、喫煙や飲酒が健康に及ぼす影響について啓発することができた。 成人保健課所管事業のみでは、市民への啓発方法に限られるため、母子保健担当課との連携や、アルコール関連問題に関する個別支援を担当する室課と連携した取組を行う必要がある。医師会、歯科医師会、薬剤師会と連携体制の維持・強化が必要。			
取組に対する事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続きあらゆる機会を活用した啓発と、医療専門職による生活習慣病を目的とした個別指導に取り組む。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援		
主な取組	3	成人、高齢期における健康づくりの推進と介護予防の普及啓発の推進		
取組の具体的内容	喫煙、飲酒等が健康に及ぼす影響についての認識の普及に努めます			
担当室課	地域保健課		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	①喫煙率(市民意識調査※) ②多量飲酒者の割合(吹田市30歳代健康診査及び吹田市国保健康診査問診結果)		①男性15.0%以下、女性5.0%以下 ②男性1.7%以下、女性0.22%以下	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	①男性21.7% 女性7.4% ②男性2.4% 女性0.35%	① ー ②男性2.5% 女性0.36%	ー	ー
実績値における前年度からの増減理由	①について、市民意識調査は4年に一度の調査かつ、前回調査時に喫煙に関する設問がないため、増減比較はできない。令和元年度国民栄養調査における喫煙率(男性27.1%、女性7.6%)との比較では吹田市民の喫煙率は低い。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) ・アルコールの適正飲酒についてホームページで啓発。アルコール関連問題啓発週間においてSNSやホームページでの啓発、また本庁ロビーでパネル展示やリーフレット配架を実施し啓発に務めた。 ・大和大学看護学生108名に対し、アルコール教室を実施。民間企業や吹田市断酒会と連携を図りアルコールに関する基礎的な知識やアルコールハラスメントについて啓発を行った。			
	(取組の効果と課題) アルコールパッチテスト等実習を取り入れたことで、学生自身がアルコールに対する自身の体質を知り自身のことと捉え、健康づくりに対する意識づくりとなった。			
取組に対する事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、ホームページやSNSでアルコールの適正飲酒について啓発を図っていく。また、吹田市内の大学連絡会でアルコール教室の周知を図り、引き続き教室開催に参加する大学を集っていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援		
主な取組	3	成人、高齢期における健康づくりの推進と介護予防の普及啓発の推進		
取組の具体的内容	喫煙、飲酒等が健康に及ぼす影響についての認識の普及に努めます			
担当室課	健康まちづくり室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	スモークフリー協賛事業者制度登録事業者数		市内事業者の80% (参考:令和3年度経済センサス活動調査におけるI～P業種 5,619事業者×80%=4,495事業者)	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	527事業者	－	－
実績値における前年度からの増減理由	令和5年度から制度の運用を開始したため、令和4年度の実績なし。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) ・スモークフリー協賛事業者制度の運用を開始し、市内事業者に従業員への受動喫煙対策等について周知し制度への登録依頼を行った。 ・卒煙支援ブース利用者に対するアンケートを実施し、啓発コンテンツの訴求力等を把握し、啓発内容の検討材料とした。 ・毎月22日を「スワン(吸わん)の日」とし、HPやSNS等で禁煙及びたばこの健康被害に関する情報発信を行った。 ・5月31日の世界禁煙デー及び5月31日から6月6日までの禁煙週間に、公共施設や事業所等において啓発を実施した。 (取組の効果と課題) スモークフリー協賛事業者制度の運用を開始した令和5年度は、吹田市医師会、吹田市歯科医師会、吹田市薬剤師会、商工会議所、市内飲食店等へ登録の働きかけを行い一定数の登録があった。さらに登録数を増やすため、異業種への周知等制度の認知度の向上を図るとともに、登録促進方法の手法を検討する必要がある。			
取組に対する事業の評価	C	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	様々な機会や方法でスモークフリーの認知度の向上や喫煙による健康被害や受動喫煙に関する情報発信を行い、スモークフリーの機運醸成を図るとともに、スモークフリー協賛事業者制度登録事業者数の増加につなげていきたい。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援		
主な取組	3	成人、高齢期における健康づくりの推進と介護予防の普及啓発の推進		
取組の具体的内容	認知症サポーター養成講座など、性別を問わず介護への理解を深める講座を開催します			
担当室課	高齢福祉室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	認知症サポーター養成講座受講者数(年度末累積)		令和6年度末 32,926人、 令和7年度末 35,196人(第9期計画目標)	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	28,386人 講座回数42回	29,464人 講座回数55回	－	－
実績値における前年度からの増減理由	令和3年度以降の養成目標数数を下方修正し、オンライン開催も併用しながら、令和4年度の養成者数952人を上回り1,078人養成ができたものの目標値には達しなかった。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 地域包括支援センターをはじめ、市内の公共施設や商業施設等において、ポスターやちらしを配架するとともに、市報やホームページ、公式SNS、市の介護予防教室等で認知症サポーターや養成講座の周知を図った。 事業所向けや市民向け講座の一部は、オンラインや土日、夜間で行ったり、小学校や大学生向けの講座も開催した。 認知症サポーターがより具体的な活動をするチームオレンジが1か所立ち上がった。			
	(取組の効果と課題) 開催曜日や時間帯、開催方法を工夫することで、平日昼間に参集で参加しにくい方に対しても養成することができた。学校に対し周知啓発を継続して行ったことから、小学生や大学生の養成もできた。令和5年度はチームオレンジが1か所立ち上がったが、更なる構築に向け、認知症サポーターステップアップ講座の開催の継続や認知症サポーター活動登録者をシステム管理し、地域包括支援センターが登録者の活動希望内容に応じて活動場所の調整を行うことで、地域でのサポーター活動につなげる。			
取組に対する事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	市民向けや事業者向けの認知症サポーター養成講座を開催するとともに、地域の企業や小中学校等にも働きかけ、併せてオンライン開催の継続も行っていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援		
主な取組	3	成人、高齢期における健康づくりの推進と介護予防の普及啓発の推進		
取組の具体的内容	フレイル予防や介護予防の普及啓発のための、講演会や相談会等を実施します			
担当室課	高齢福祉室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	介護予防講演会の参加者数		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	352人	574人	－	－
実績値における前年度からの増減理由	新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことにより、定員を増やしたため。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 栄養、口腔、認知症に関する講演会を実施した。 また、各講演会時に、吹田市の高齢化の状況や介護予防の取組等について講話を実施し、介護予防に関する啓発を行った。			
	(取組の効果と課題) 講演会のテーマの啓発だけでなく、介護予防に関する講話を実施することで、介護予防全体の啓発をできた。 定員を満たしていない講演会もあった。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	令和5年度から、栄養、口腔に関する教室の回数を増やし、より身近な会場で、受講できるように取り組んだので、参加者数等の動向を注視し、評価していく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援		
主な取組	3	成人、高齢期における健康づくりの推進と介護予防の普及啓発の推進		
取組の具体的内容	ひろばde体操やいきいき百歳体操の活動支援を通して、フレイル予防、介護予防に取り組む地域づくりを促します			
担当室課	高齢福祉室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	いきいき百歳体操実施グループ数		毎年8グループ増加	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	163グループ	172グループ	－	－
実績値における前年度からの増減理由	新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことにより、いきいき百歳体操グループの立ち上げへの意欲が高まった層がいたため。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) いきいき百歳体操のおためし講座、継続的に活動を希望するグループに対し、活動支援講座、継続的に活動中のグループに対し、フォロー講座を実施した。 フォロー講座では、体力測定を実施した。 1年間継続してグループ活動へ参加し90歳になる方へ、表彰を実施した。			
	(取組の効果と課題) 90歳になる方への表彰は、活動継続へのモチベーションアップに繋がり、他の参加者にとっても目標となるなどグループ活動がより活気立った。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	地域包括支援センターと連携し、新たなグループが立ち上がるよう、地域住民に働きかける。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援		
主な取組	4	性と生殖についての理解の促進		
取組の具体的内容	からだと健康についての理解を深めるための講座を実施します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	15
目標	項目		数値等	
	対象講座延べ受講者数		60人	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	46人	80人	－	－
実績値における前年度からの増減理由	性について子供への伝え方を学ぶ講座において、思春期を目安に子供の年齢で対象を区切り、2回開催したため。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 性について子供への伝え方を学ぶ講座と、女性の体の変化や女性ホルモンとの関係、り患しやすい病気について知る講座を開催した。			
	(取組の効果と課題) 女性の体の変化等に関する講座では、セルフケアを通して自分の体に関心を持ち、健康増進につなげることの大切さを伝えることができた。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	広い世代にアプローチできる方法を検討する。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援		
主な取組	4	性と生殖についての理解の促進		
取組の具体的内容	性に関する正しい情報を提供することで、学校、保育所・幼稚園等における性に関する教育の充実を図ります			
担当室課	学校教育室		計画推進の指標番号	15
目標	項目		数値等	
	全小中学校に情報提供		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 性に関する指導について、国や府からの通知を各校へ周知した。また、各校において学習指導要領に則り、児童・生徒が身体の変化や性の意識の変化について理解し、自他を大切にする心を育み、性に関する適切な態度や行動の選択ができるように、保健の授業を中心として学校の教育活動全体で取組を行った。			
	(取組の効果と課題) 国や府の通知を各校へ周知し、SNSの危険性やデートDV等最新の動向について、児童、生徒だけでなく、教職員や保護者が共に学ぶ機会を設けるため、外部講師を招聘した講習会等の開催も検討していく必要がある。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も継続して実施していく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援		
主な取組	4	性と生殖についての理解の促進		
取組の具体的内容	性に関する正しい情報を提供することで、学校、保育所・幼稚園等における性に関する教育の充実を図ります			
担当室課	保育幼稚園室		計画推進の指標番号	15
目標	項目		数値等	
	性に関する教育の充実		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 性別にとらわれない園運営(クラス運営)の推進に取り組んだ。			
	(取組の効果と課題) 性別にとらわれない、子供一人ひとりの個性やもちあじを尊重した教育・保育に取り組んだ。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き、子供一人ひとりの個性やもちあじを尊重した教育・保育に取り組む。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援		
主な取組	4	性と生殖についての理解の促進		
取組の具体的内容	大阪府が行っている「にんしんSOS」の普及・啓発を行うとともに様々な悩み相談に対応します			
担当室課	青少年室		計画推進の指標番号	15
目標	項目		数値等	
	望まない妊娠に関する正しい知識の習得		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	夢つながり未来館利用者数 360,082人	夢つながり未来館利用者数 363,942人	—	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 「望まない妊娠」・「性暴力」に関するリーフレットを周知し、相談に対応できる体制づくりを行った。			
	(取組の効果と課題) 望まない妊娠等に関する正しい知識を習得する機会を提供しており、青少年に対して行う啓発としては効果的な取組であると考えている。			
取組に対する 事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	「望まない妊娠・出産」を防止するため、引き続き青少年に対する啓発活動を行い、相談があった場合は適切な支援をしていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援		
主な取組	4	性と生殖についての理解の促進		
取組の具体的内容	妊娠についての正しい知識の普及・啓発を行うとともに、様々な悩み相談に対応します			
担当室課	すこやか親子室		計画推進の指標番号	15
目標	項目		数値等	
	妊娠・出産についての正しい知識の普及・啓発実施回数		年に2回実施	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	2回	—	—
実績値における前年度からの増減理由	令和5年度から実施。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) ①10月に万博記念公園で実施された大阪府主催のイベントにおいて、プレコンセプションケアの啓発を実施。 プレコンセプションケアに関する啓発リーフレットの配布やポスター掲示等を実施。 ②2月に市民を対象に、産科医師等による講演会を実施し、性や妊娠に関する知識と、妊娠や胎児に影響を及ぼす感染症予防などの啓発を実施。			
	(取組の効果と課題) 一般的にプレコンセプションケアの認知度は低いため、リーフレット等の配布を通じて、わずかではあるが啓発することができた。今後も若者が集まる機会等を活用して啓発を進めていきたい。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	妊娠前の若い世代に性や妊娠・出産に関する正しい知識の普及啓発が重要であり、大学等での実施や学校機関とも連携しながら啓発を継続していく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援		
主な取組	4	性と生殖についての理解の促進		
取組の具体的内容	性感染症についての正しい知識の普及・啓発を行うとともに、早期診断のための検査を実施します			
担当室課	地域保健課		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	HIV等性感染症に関する予防啓発の実施回数		年6回以上	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	啓発回数 7回	啓発回数 10回	－	－
実績値における前年度からの増減理由	梅毒増加への対策として、これまでの取組に加え、関係機関と連携し、若年層への啓発を新たに実施したことで実績値が増加。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) ・母子保健課(現 児童部すこやか親子室)が実施するプレコンセプションケアに関する市民向け講演会や同課予防接種担当による千里金蘭大学文化祭でのHPVワクチンの啓発と連携し、性感染症に関する予防啓発を実施。 ・市内5大学と連携し、リーフレットやポケットティッシュ等の啓発物品の配架や保健所での性感染症検査についての周知を実施。 (取組の効果と課題) ・新型コロナウイルス感染症の5類移行後は、年間計画通りに事業を実施することができ、令和4年度より受検者数は増加した。(令和4年度96名→令和5年度113名)しかしながら、1回当たりの受検者数は減少しており、受検しやすい検査体制の検討が必要である。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	性感染症対策としては、梅毒の報告数が増加しているため、引き続き、若年層も含め受検しやすい検査体制の確保に努めるとともに、市内大学等関係機関と連携し、性感染症予防の普及啓発を強化していく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備		
主な取組	1	貧困・高齢・障がい等により困難を抱えた人への支援		
取組の具体的内容	困難を抱える人が適切な支援を受けることができるよう、ジェンダーの視点も持ちながら包括的な相談支援体制の構築を進めるとともに、地域福祉のネットワークづくりを推進します			
担当室課	福祉総務室		計画推進の指標番号	17
目標	項目		数値等	
	包括的な支援体制の構築に向けた重層的支援体制整備事業の実施体制等にかかる検討回数		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1回	5回	－	－
実績値における前年度からの増減理由	令和7年度事業開始に向けて本格的に検討を開始したため。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 重層的支援体制整備事業交付金の対象となる既存事業の所管室課、大阪府、大阪府社会福祉協議会、吹田市社会福祉協議会の計11機関で本市の実施体制等について検討を重ねた。 CSW(コミュニティソーシャルワーカー)の役割をテーマとした研修を地区福祉委員や民生児童委員等を対象として実施した。			
	(取組の効果と課題) 会議の中で本市の課題や特徴を共有することで、実態に合った実施体制の構築に向けた検討ができた。今後は事業実施に向けて全庁的に事業の周知や意見の把握を行うことで、より効果的な事業が実施できるよう体制の構築に努める必要がある。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	検討会議等は滞りなく実施し、事業実施体制の構築が進んでいる。 CSWの市民及び支援機関における認知度を向上させることで、属性を問わない相談の受けとめや地域における支援体制のネットワークの強化につなげる。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備		
主な取組	1	貧困・高齢・障がい等により困難を抱えた人への支援		
取組の具体的内容	困難を抱える人が適切な支援を受けることができるよう、ジェンダーの視点も持ちながら包括的な相談支援体制の構築を進めるとともに、地域福祉のネットワークづくりを推進します			
担当室課	高齢福祉室		計画推進の指標番号	17
目標	項目		数値等	
	①地域包括支援ネットワーク会議の開催・出席回数 ②地域包括支援センターの相談件数		①令和6年度末 510回、令和7年度末 520回 ②令和6年度末 33,745件、 令和7年度末 36,230件(第9期計画目標)	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	①496回 ②28,774件	①793回 ②31,724件	－	－
実績値における前年度からの増減理由	地域包括ケアシステムの中核機関として、多方面とのネットワークづくりを進めている。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、地域活動が活発化し、活動回数が増加している。 高齢者人口の増加が増加しており、地域包括支援センターへの相談件数が増加している。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 地域住民を対象とした活動の再開や新たな機会の創出等について、地域の行事等の様々な機会を通して、地域包括支援センターの業務の周知を図っている。また、市として、要支援・要介護認定の結果を通知する際に、地域包括支援センターの一覧を同封する等、市が実施する事業を通して、広く高齢者と家族等市民への相談先としての地域包括支援センターの周知に努めた。			
	(取組の効果と課題) 地域包括支援センターの地域活動、相談件数が増加しており、相談対応をきっかけとして地域の多様な機関と地域ネットワークを構築している。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、地域包括支援センターを主体に、地域団体や、民間事業所等との連携した地域に根ざした特色のある取組を進め、市民にとってより身近な総合相談窓口としての機能を発揮します。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備		
主な取組	1	貧困・高齢・障がい等により困難を抱えた人への支援		
取組の具体的内容	困難を抱える人が適切な支援を受けることができるよう、ジェンダーの視点も持ちながら包括的な相談支援体制の構築を進めるとともに、地域福祉のネットワークづくりを推進します			
担当室課	障がい福祉室		計画推進の指標番号	17
目標	項目		数値等	
	包括的な相談支援体制の構築		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における前年度からの増減理由				
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 地域自立支援協議会の全体会議において障がい者等への支援体制等に関する課題について協議し、包括的なネットワークの体制の充実を図る。			
	(取組の効果と課題) 包括的な相談支援体制の構築に今後どのようにジェンダーの視点を加えていくかが課題である。			
取組に対する事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	地域自立支援協議会の全体会議で検討された課題や成果について、見える化していく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備		
主な取組	1	貧困・高齢・障がい等により困難を抱えた人への支援		
取組の具体的内容	困難を抱える人が適切な支援を受けることができるよう、ジェンダーの視点も持ちながら包括的な相談支援体制の構築を進めるとともに、地域福祉のネットワークづくりを推進します			
担当室課	生活福祉室		計画推進の指標番号	17
目標	項目		数値等	
	ハローワーク等関係機関と連携し、 就労自立できるよう個々に合わせた支援を行う		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	就労支援専門員が関わる支援 により就労につながった人数 45人	就労支援専門員が関わる支援 により就労につながった人数 69人	－	－
実績値における 前年度からの増減理由	新型コロナウィルスの影響が落ち着いたことでハローワークの求人数が安定し、意欲をもって就労支援を受け、就労につながったことによる。			
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 引き続きハローワークと連携し、就労阻害要因を把握し、きめ細やかな就労支援を行う。			
	(取組の効果と課題) 支援対象者のうち、就労に至る率は向上しつつあるものの、非正規職員での就労であることが多い。そのため、自立後の安定した生活を目指すためにも、正規職員への就職者を増やすことが課題である。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続きハローワークと連携し、個々の状況に応じた就労支援を実施する。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備		
主な取組	1	貧困・高齢・障がい等により困難を抱えた人への支援		
取組の具体的内容	介護保険制度や障害者総合支援制度の活用の啓発を行います			
担当室課	高齢福祉室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	①市内の地域包括支援センターで受け付けた 介護保険サービスに関する相談件数、 ②すいた年輪サポートなびの活用状況		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	①相談件数12,745件、 ②すいた年輪サポートなび アクセス数102,736回	①相談件数13,463件、 ②すいた年輪サポートなび アクセス数182,340件	－	－
実績値における 前年度からの増減理由	地域包括支援センターの周知を進めるとともに、地域活動の場へのアウトリーチにも取り組んでいる。 「すいた年輪サポートなび」は、令和4年度に高齢者の生活サポート情報を追加掲載し、継続した周知に取り組んでいる。			
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 「吹田市ケア倶楽部」にて「すいた年輪サポートなび」における「介護事業者情報の空き情報等調査」への協力を依頼し、鮮度の高い情報を提供。 「すいた年輪サポートなび」啓発チラシを更新し、地域包括支援センターや市内医療機関など関係機関に配布し活用を進めている。市公式LINE を活用した周知を実施。			
	(取組の効果と課題) 引き続き「すいた年輪サポートなび」について、市ホームページや公式SNS等を活用して、幅広い市民や関係機関への周知に努める必要がある。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	在宅医療を支えていくための連携体制の強化のため、多職種連携研修会、ケアマネ塾、ケアマネ懇談会を開催し、顔の見える関係づくりの取組 を進める。「すいた年輪サポートなび」の認知度向上のため、今後も市民や関係機関への周知を図る。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備		
主な取組	1	貧困・高齢・障がい等により困難を抱えた人への支援		
取組の具体的内容	介護保険制度や障害者総合支援制度の活用の啓発を行います			
担当室課	障がい福祉室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	啓発事業開催		3回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2回	2回	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 地域包括支援センターの新任職員やケアマネージャー(介護支援専門員)に対し、障がい福祉サービスに関する学習会を実施。具体的なサービスの種類や利用申請に至るまでの流れ、介護保険サービスとの併用について担当職員が講師となり実施した。			
	(取組の効果と課題) 65歳を迎えると、障がい福祉サービスから介護保険サービスへの移行が生じるが、ケアマネージャーによっては、障がい福祉サービスの制度概要や理解が十分とは言えない状況がある。 このことにより、介護保険サービス移行によって必要なサービスが提供できない事態が生じないよう、制度理解を深めるための研修や65歳以降の利用サービス切り替えのためのガイドラインを作成する等の取組が必要である。			
取組に対する 事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き、啓発を進めていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備		
主な取組	1	貧困・高齢・障がい等により困難を抱えた人への支援		
取組の具体的内容	養護者による高齢者虐待防止啓発のため、地域での出前講座や民生委員・児童委員等を対象に研修を実施します			
担当室課	高齢福祉室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	地域ケア会議ブロック別定例会の開催回数 (そのうち高齢者虐待の事例検討や研修の回数) 高齢者虐待対応や防止に関する出前講座の回数		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	地域ケア会議 43回(2回) 出前講座 25回	地域ケア会議 44回(2回) 出前講座 10回	—	—
実績値における 前年度からの増減理由	地域ケア会議ブロック別定例会を年4回から3回に変更等による回数の減少によるもの。 高齢者虐待防止の出前講座について、令和4年度は各地域包括支援センターが、担当圏域における民生・児童委員地区委員会議での研修に取り組んだため増加した。			
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 地域ケア会議については、近年の防災意識の高まりから、防災や避難行動に関する検討を行っている地域が増えているが、困難事例ケースの検討等虐待防止に向けての検討も行っており、地域の顔の見える関係づくりに向けて、ネットワークの強化を図っている。			
	(取組の効果と課題) 地域包括支援センターをはじめ、関係機関や、多職種が参画する地域ケア会議で、顔の見える関係づくりを進め、高齢者が安心・安全に暮らしやすい地域づくりを進めるとともに、相談窓口の周知を図り、虐待の早期対応・未然防止につなぐ。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	地域ケア会議等を通じ、高齢者虐待の早期発見及び未然防止に向けて、窓口の周知や、地域づくりを継続していく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備		
主な取組	1	貧困・高齢・障がい等により困難を抱えた人への支援		
取組の具体的内容	障害者虐待防止法における制度改正等により事業所に対して虐待防止が義務化されたことを受け、広く啓発を実施するため、事業所への研修を行います			
担当室課	障がい福祉室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	事業所向けの研修		3回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	3回	3回	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 障がい者に対する虐待が疑われる場合の速やかな通報を徹底するため、相談支援専門員、サービス管理責任者等の事業所の従業員に対し虐待防止の意識を高める研修を実施する。			
	(取組の効果と課題) 虐待に関する啓発や事業所向けの研修等により、正しい知識の普及と、通報への意識が高まり、通報件数の増加につながっている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き、啓発を進めていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備		
主な取組	2	ひとり親家庭に対する支援		
取組の具体的内容	ひとり親家庭が抱える課題に応える相談・支援の充実と当事者間の交流機会の形成を促進します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	18
目標	項目		数値等	
	対象講座開催数		1講座	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2講座	1講座	－	－
実績値における 前年度からの増減理由	受講希望者が少なかったため。			
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) シングルマザーを対象にした講座の中で、先輩シングルマザーである講師や受講者同士の交流の時間を設けた。			
	(取組の効果と課題) 同じ境遇の人同士で話す機会を提供することができ、受講者の感想からも好評であった。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も継続して当事者目線での講座企画や相談ができる場を作っていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備		
主な取組	2	ひとり親家庭に対する支援		
取組の具体的内容	ひとり親世帯等の相談体制を強化するとともに、日常生活の支援や養育費確保に向けた取組を推進します			
担当室課	子育て給付課		計画推進の指標番号	18
目標	項目		数値等	
	一人ひとりに寄り添った相談や支援を継続的に行っていく。		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	①ひとり親家庭相談件数1,154件 ②就業・自立支援相談件数705件 ③養育費・親子交流相談件数23件 ④公正証書等作成支援件数20件	①ひとり親家庭相談件数1,077件 ②就業・自立支援相談件数639件 ③養育費・親子交流相談件数27件 ④公正証書等作成支援件数20件	－	－
実績値における前年度からの増減理由	①及び②については、令和4年度は、令和3年度までの間に新型コロナウイルス感染症の流行等のため相談に来ることが難しかった方の利用が一時的に集中したと考えられるが、令和5年度はそういった要因がなくなり、利用者数が低減したと考えられる。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 子供のための養育費のこと、離れて暮らす親との親子交流について、専門相談員による相談を実施した。養育費の取り決めのための公正証書の作成費用や、調停・裁判に要した費用の一部を補助した。			
	(取組の効果と課題) 養育費・親子交流の専門相談については、毎月予約が埋まることが多く、ひとり親家庭の抱える問題の解決のための一助として活用できている。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、ひとり親家庭の相談については子育て給付課がワンストップで実施するとともに、関係所管との連携を図りながら、一人ひとりに寄り添ったより充実した相談・支援体制を整備していく。また、養育費等の専門的な相談についての周知も積極的に行っていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備		
主な取組	2	ひとり親家庭に対する支援		
取組の具体的内容	医療費の助成・児童扶養手当の支給・福祉資金の貸付け制度による経済的自立に向けた支援をします			
担当室課	子育て給付課		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	一人ひとりの状況に応じた対応を行っていく。		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	①児童扶養手当受給者数1,909人 ②ひとり親家庭医療費助成件数 63,285件 ③子ども医療費助成件数 853,398件 ④新規貸付件数23人	①児童扶養手当受給者数1,876人 ②ひとり親家庭医療費助成件数 69,134件 ③子ども医療費助成件数 998,810件 ④新規貸付件数9人	—	—
実績値における 前年度からの増減理由	②③ひとり親家庭医療費助成件数と子ども医療費助成件数については増加しており、新型コロナウイルス感染症での受診控えが収まったことが影響していると考えられる。加えて、子ども医療費助成件数については、令和2年に行った年齢拡充による受診増が表れたと考えられる。④新規貸付件数が減少したのは、国の高等教育における修学支援新制度がより浸透し、利用者が増加したためと考えられる。			
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 児童扶養手当の支給、医療証を交付し医療機関での費用負担の軽減を図った。また、子供が大学等へ進学する際の入学金や学費の資金等の貸付けを行った。			
	(取組の効果と課題) 手当の支給や医療費助成制度により、ひとり親家庭の生活の安定と自立の促進を図ることが出来た。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き、ひとり親家庭の生活の安定と自立の促進に努める。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備		
主な取組	2	ひとり親家庭に対する支援		
取組の具体的内容	ひとり親家庭の経済的自立を促進するため、就労に必要な技能や知識を身に着けるための講座を実施します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	18
目標	項目		数値等	
	対象講座開催数		2講座	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	3講座	2講座	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) シングルマザーを対象に生き方講座とマネー講座を開催した。			
	(取組の効果と課題) 内容だけでなく、開催形態や日時など、シングルマザーが受講しやすい講座にする工夫が必要。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も継続して当事者目線での講座企画を行っていく。また、対象者に届きやすい周知方法を検討する。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備		
主な取組	2	ひとり親家庭に対する支援		
取組の具体的内容	ひとり親家庭の経済的自立を促進するため、就労に必要な技能や知識を身に着けるための講座を実施します			
担当室課	地域経済振興室		計画推進の指標番号	18
目標	項目		数値等	
	就労支援講座を開催		2種類以上	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	①調剤事務講座:2名 ②介護職員初任者研修:1名 ③ビジネスパソコン講座:1名	①CAD利用技術者:0名 ②介護職員初任者研修:1名 ③ビジネスパソコン講座:0名	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 働く意欲がありながら、様々な課題を抱える就職困難者に対し、就職に必要な技能及び知識を身につけるための就職支援講座を実施しており、ひとり親家庭に対する一定の受講枠を設定。			
	(取組の効果と課題) 様々な課題を抱える就職困難者が、講座受講によって技能及び知識を身につけることで経済的自立に直接的に結びつく事業として有益である と考える。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も引き続き就職支援講座を実施していく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備		
主な取組	2	ひとり親家庭に対する支援		
取組の具体的内容	ひとり親家庭の経済的自立を促進するため、就労に必要な技能や知識を身に着けるための講座を実施します			
担当室課	子育て給付課		計画推進の指標番号	18
目標	項目		数値等	
	講座実施により一人ひとりの状況に応じた就労支援を実施する		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	14人	17人	－	－
実績値における 前年度からの増減理由	前年度とほぼ同水準の受講者数となっている。			
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 母子家庭及び寡婦の自立に役立つ知識・技能の取得のため技能習得講座を実施した。			
	(取組の効果と課題) 就業支援のためのパソコン講習会及び介護職員初任者研修を実施し、職場でのスキルアップや就労につながっていると思われる。 市報やホームページ等での広報を行い、より一層の周知に努め、ひとり親家庭の講座受講機会の確保に努めていく必要がある。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き、窓口での案内や市報等により、受講案内の周知を積極的に行っていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備		
主な取組	3	多様な性に関する理解の促進		
取組の具体的内容	ジェンダーの視点を取り入れた学校運営を行うとともに、多様な性に関する理解の促進を図るため、人権教育担当者会、初任者研修を通じて啓発を行います			
担当室課	学校教育室		計画推進の指標番号	19
目標	項目		数値等	
	人権教育担当者会、初任者研修		2回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2回	2回	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 人権教育担当者会、初任者研修において、多様な性に関する理解の促進を図る研修を行った。			
	(取組の効果と課題) 人権教育担当者会、初任者研修において、多様な性に関する理解の促進を図った。各校の研修において、多様な性に関する理解の促進を図る必要がある。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も継続して実施していく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備		
主な取組	3	多様な性に関する理解の促進		
取組の具体的内容	教職員に対し、セクシュアリティやジェンダーについての研修を充実させます			
担当室課	教育センター		計画推進の指標番号	19
目標	項目		数値等	
	研修内容に対する肯定的評価率		(とても良い、良い) 100%	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	96.5%	99.5%	－	－
実績値における前年度からの増減理由	多様な性の理解に関する研修について、若年教員対象の肯定的評価率が高かったため。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) セクシュアリティやジェンダーについての研修をキャリアステージに応じて実施した。			
	(取組の効果と課題) 多様な性の理解を促す研修を特に若年教職員を対象に実施することで、子供理解の資質・能力の育成に取り組んでいる。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	アンケートの回答内容等を踏まえ、研修内容の精査を図る。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備		
主な取組	3	多様な性に関する理解の促進		
取組の具体的内容	ジェンダーに関するDVDなどの貸出し、図書・資料の収集・提供に努めます			
担当室課	人権政策室		計画推進の指標番号	19
目標	項目		数値等	
	吹田市人権啓発推進協議会における人権啓発DVDの貸出		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	17回	16回	－	－
実績値における前年度からの増減理由	前年度と同程度で推移している。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 吹田市人権啓発推進協議会が所有する人権啓発DVDを、地区委員会、企業、団体等に貸出した。			
	(取組の効果と課題) 研修会や上映会で人権啓発DVDを上映することにより、多くの市民に人権啓発を行うことができた。 人権啓発DVDを最新の内容に順次更新していく必要がある。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	人権啓発DVDを最新の内容に順次更新し、幅広い団体、企業等に貸出していく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備		
主な取組	3	多様な性に関する理解の促進		
取組の具体的内容	多様な性に関する啓発を進めるとともに、性に関する悩み(LGBTQを含む)などの相談に対応します			
担当室課	人権政策室		計画推進の指標番号	19
目標	項目		数値等	
	人権擁護委員が市民からの人権相談に応じ、小学生・中学生を対象に人権教室を実施		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	51回	16回	－	－
実績値における前年度からの増減理由	新型コロナウイルス感染症の拡大収束に伴い、人権教室を各クラスではなく学年単位で実施したため。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 人権相談1回 人権教室15回			
	(取組の効果と課題) 人権擁護委員が市民からの人権相談に応じ、小学生・中学生を対象に人権教室を実施することにより、人権尊重の意識を高めることができた。人権相談を実施し、より多くの小学校・中学校に人権教室の実施を促す。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	人権擁護委員は日常生活の中で生じる人権問題について、市民から人権相談に応じたり、子供たちが人権について考える機会を作る啓発活動として、人権教室を実施しており、様々な人権擁護活動が推進されるよう引き続き支援することが必要である。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備		
主な取組	3	多様な性に関する理解の促進		
取組の具体的内容	性的マイノリティの方が、お互いを人生のパートナーとすることを宣誓された事実を公に証明するパートナーシップ宣誓証明制度を実施します			
担当室課	人権政策室		計画推進の指標番号	19
目標	項目		数値等	
	パートナーシップ宣誓証明制度を実施		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	7件	—	—
実績値における前年度からの増減理由	パートナーシップの宣誓受付は、令和5年4月3日から開始したため。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) パートナーシップの宣誓受付を令和5年4月3日から開始し、年間7件の申請があり、「パートナーシップ宣誓書受領証」を交付した。			
	(取組の効果と課題) 市民一人ひとりが互いに多様な生き方を「認め合い、尊重し、支え合うまち」を目指し、性的マイノリティ当事者が住み慣れた地域で自分らしく生きることを支援するための取組の一つとして実施しており、当事者のニーズを把握するとともに、国や他自治体の動向を注視する必要がある。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	多様な生き方を理解し、互いの人権を尊重し合い、誰もがありのままに生きられる社会の実現に向けて取組を進める。			

男女共同参画に関する施策の実施状況

基本方向3

男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	1	男女共同参画意識の形成		
主な取組	1	市職員に対する男女共同参画研修の充実		
取組の具体的内容	市職員の男女共同参画に関する意識形成のため、ワーク・ライフ・バランスやハラスメント防止等の研修を実施します			
担当室課	人事室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	開催回数		1回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1回	1回	－	－
実績値における前年度からの増減理由				
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 個々の業務都合に合わせて受講が可能な動画配信による研修を実施することにより、より多くの職員が効果的に受講ができる環境を整えました。			
	(取組の効果と課題) 引き続き、効果的な研修を実施することで、ワーク・ライフ・バランス実現やハラスメントのない職場環境づくりに対する、職員一人ひとりの意識向上を図ります。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	法改正や社会情勢の変化等に対応しながら研修内容を検討します。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	1	男女共同参画意識の形成		
主な取組	1	市職員に対する男女共同参画研修の充実		
取組の具体的内容	公文書における男女共同参画の視点に立った文書表現について周知します			
担当室課	人権政策室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	「男女共同参画の視点からの行政刊行物の表現の手引書」の周知		1回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1回	1回	－	－
実績値における前年度からの増減理由				
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 男女共同参画週間における啓発の一環として、「男女共同参画の視点からの行政刊行物の表現の手引書」を事務なびで配信した。職員に常時活用していただくため、共有フォルダにも掲載するようにした。			
	(取組の効果と課題) 意識啓発にあたっては継続して取り組んでいく必要がある。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	手引書を適宜見直し、より活用していただきやすいものとなるよう工夫していく。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	1	男女共同参画意識の形成		
主な取組	2	事業者、労働者への男女共同参画の啓発と情報提供		
取組の具体的内容	JOBナビすいたにおいて、子育て両立支援求人を含む求人を開拓し、子育てをしながら就職を希望する方が就職に結びつくようマッチングを図ります			
担当室課	地域経済振興室		計画推進の指標番号	20・21・22
目標	項目		数値等	
	啓発と情報提供		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における前年度からの増減理由				
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 吹田市無料職業紹介所において、仕事と子育ての両立支援に取り組む求人を15件掲載。(令和5年度)			
	(取組の効果と課題) 仕事と子育ての両立支援求人を打ち出す事業所が多くない実態の中で、子育て中の女性も含め、企業が求める人材を掘り起こすことによって、求職者とのマッチングを高めていく。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も事業所と求職者のマッチングを高め、就職に結びつくよう支援に取組む。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	1	男女共同参画意識の形成		
主な取組	2	事業者、労働者への男女共同参画の啓発と情報提供		
取組の具体的内容	事業者、労働者への男女共同参画の啓発のため、事業所向けに出前講座を実施します			
担当室課	人権政策室		計画推進の指標番号	20・21・22
目標	項目		数値等	
	出前講座の実施回数		1回以上	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	0回	1回	－	－
実績値における前年度からの増減理由	昨年度は出前講座の依頼がなかったため。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 講師派遣依頼に基づいて、男女共同参画の推進に関するテーマで出前講座を実施した。			
	(取組の効果と課題) 全職員に受講していただけるよう、2日に分けて実施した。次年度以降も継続して実施したいとの要望を受けた。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	社会情勢等を反映した内容となるよう講座内容の見直しを行い、継続して実施する。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	1	男女共同参画意識の形成		
主な取組	2	事業者、労働者への男女共同参画の啓発と情報提供		
取組の具体的内容	事業者、労働者への男女共同参画の啓発のため、事業所向けに出前講座を実施します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	20・21・22
目標	項目		数値等	
	対象講座開催数		2講座	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2講座	0講座	—	—
実績値における前年度からの増減理由	事業者から研修会(出前講座)開催の希望がなく、実施に至らなかったため。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 事業者から研修会(出前講座)開催の希望がなく、実施に至らなかったが、SNS等を用いて、職場におけるアンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)についての情報発信を実施した。			
	(取組の効果と課題) オンラインや動画の活用など事業者が開催しやすい研修会(出前講座)を提案する。			
取組に対する事業の評価	C	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、事業者に研修会(出前講座)の開催を呼びかけていく。 希望がない場合でも、ホームページやSNSを活用するなどの方法で啓発する。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	1	男女共同参画意識の形成		
主な取組	2	事業者、労働者への男女共同参画の啓発と情報提供		
取組の具体的内容	性別にかかわらず誰もが働きやすい職場環境づくりを推進するため、労働問題全般に関する啓発冊子の配布による情報提供や講座を実施します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	20・21・22
目標	項目		数値等	
	情報提供回数		2回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2回	3回	－	－
実績値における前年度からの増減理由				
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 事業者に向けて、誰もが働きやすい職場環境づくりのための研修会(出前講座)の案内を行った。事業者から希望がなく、講座は実施に至らなかったが、SNS等を用いて、職場におけるアンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)についての情報発信を実施した。			
	(取組の効果と課題) オンラインや動画の活用など事業者に見てもらいやすい情報提供に努める。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	事業者から研修会(出前講座)の開催の希望がない場合でも、ホームページやSNSを活用するなどの方法で啓発する。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	1	男女共同参画意識の形成		
主な取組	2	事業者、労働者への男女共同参画の啓発と情報提供		
取組の具体的内容	性別にかかわらず誰もが働きやすい職場環境づくりを推進するため、労働問題全般に関する啓発冊子の配布による情報提供や講座を実施します			
担当室課	地域経済振興室		計画推進の指標番号	20・21・22
目標	項目		数値等	
	啓発冊子の作成		年2回以上	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	年3回実施 (2,000部/回)	年3回実施 (2,000部/回)	—	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 市内公共施設等に啓発冊子を配布し、市HPにも同内容を掲載。			
	(取組の効果と課題) 各種労働問題については、継続した啓発活動の確保が重要であり、今後も引き続き啓発を続けていく。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も引き続き冊子等で啓発を実施していく。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	1	男女共同参画意識の形成		
主な取組	3	家庭における男女共同参画の効果的な啓発活動の推進		
取組の具体的内容	男女が共に協力して育児ができるよう、育児に関する技術指導及び知識や情報の提供に努めます			
担当室課	すこやか親子室		計画推進の指標番号	20・21・22
目標	項目		数値等	
	プレパパ・ママ教室への参加者数(男女)		1920人	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	816人 (内オンライン54人)	1262人	－	－
実績値における 前年度からの増減理由	教室開催回数を増やしたことで参加者は増加した。			
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 毎回、定員を超過申し込みがあることから、回数を増やして実施。プレパパ・ママ教室にて「パパのための育児BOOK」、妊娠届け出時に育児休暇制度取得を促す「さんきゅうパパBOOK」の冊子を配布している。			
	(取組の効果と課題) 参加後のアンケート結果より教室内容についての満足度は高く、父親の育児等への意識が向上も見られた。参加ニーズが高いため、教室の運営方法等の見直しが必要。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き、実施。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	1	男女共同参画意識の形成		
主な取組	3	家庭における男女共同参画の効果的な啓発活動の推進		
取組の具体的内容	男性の家事・育児・介護への参画を促進するための学習の機会を提供します			
担当室課	まなびの支援課		計画推進の指標番号	20・21・22
目標	項目		数値等	
	生涯学習事業における講座実施数		5回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2回	3回	—	—
実績値における前年度からの増減理由	子育て世代の男性及び夫婦を対象とした講座実施を強化したため。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 子育て世代の男性及び夫婦を対象とした育児に関する講座を3回実施した。			
	(取組の効果と課題) アンケートにて講座内容に満足した旨の回答が多く、男性の育児への参画について高い効果が期待できる。			
取組に対する事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	受講者からの意見を取り入れた講座の追加実施等を検討する。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	1	男女共同参画意識の形成		
主な取組	3	家庭における男女共同参画の効果的な啓発活動の推進		
取組の具体的内容	男性の家事・育児・介護への参画を促進するための学習の機会を提供します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	20・21・22
目標	項目		数値等	
	対象講座延べ男性受講者数		80人	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	87人	135人	－	－
実績値における前年度からの増減理由	コロナ禍に休止していたシニアリーダー活動を再開したため。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 初心者向け男性料理講座と、父と子で協力して作る料理講座を実施した。また、「夫婦で子育て」をテーマにした講座の中で、父と子でできる遊びを紹介した。			
	(取組の効果と課題) 初めてセンターに来た受講者が多く、啓発の効果があった。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	男性に家事を担うきっかけにもらうため、継続して実施していく。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	1	男女共同参画意識の形成		
主な取組	4	市民に対する多様な媒体・機会を通じての男女共同参画に係る広報・啓発		
取組の具体的内容	市報・広報誌・SNSなど多様な媒体を通じて男女共同参画に関する情報を発信します			
担当室課	人権政策室		計画推進の指標番号	20・21・22
目標	項目		数値等	
	市報すいたへの記事掲載、啓発冊子の発行、SNSなどを活用した情報発信		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における前年度からの増減理由				
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) ホームページやSNSなどを活用して男女共同参画に関する制度や取組についての情報を発信した。 中学生向け啓発冊子「エール」の発行、市民スタッフとともに編集した「女と男のいきいきライフ」の市報すいたへの掲載を通じて、男女共同参画社会の実現に向けて意識啓発を行った。			
	(取組の効果と課題) 「エール」の編集にあたり、アニメーション専門学校の学生にイラストの作成協力を依頼したことにより、若年層の方に親しんでもらいやすい啓発冊子を作成することができた。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	より多くの方に関心をもていただくために、情報発信の方法やテーマなどを工夫していく。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	1	男女共同参画意識の形成		
主な取組	4	市民に対する多様な媒体・機会を通じての男女共同参画に係る広報・啓発		
取組の具体的内容	市報・広報誌・SNSなど多様な媒体を通じて男女共同参画に関する情報を発信します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	20・21・22
目標	項目		数値等	
	啓発誌ソフィアの発行回数		2回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2回	2回	－	－
実績値における前年度からの増減理由				
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 啓発誌ソフィアで、男女共同参画センターをPRすることに加えて、男女共同参画の視点を持った特集記事等により、読者に対して男女共同参画についての諸問題について啓発を行った。情報ライブラリーでは、テーマ展示(テーマを決めて関連図書の紹介を行う)による啓発を実施した。			
	(取組の効果と課題) ソフィアの配布を紙媒体だけでなく、ホームページにも掲載し広く啓発を行った。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、男女共同参画の広報・周知に努めていくとともに、当啓発誌・当センターの認知度向上にも努めていく。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	1	男女共同参画意識の形成		
主な取組	4	市民に対する多様な媒体・機会を通じての男女共同参画に係る広報・啓発		
取組の具体的内容	市報などで情報発信を行う際に、男女共同参画の視点を持って情報発信を行うよう努めます			
担当室課	広報課		計画推進の指標番号	20・21・22
目標	項目		数値等	
	設定なし		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 各種広報活動を行うにあたり、性別による固定的な役割分担を助長することのないように、文字・画像などを活用した表現に誤りや偏りが ないよう注力した。			
	(取組の効果と課題) 令和5年度の広報活動において、男女共同参画の視点で問題となるようなことはなかった。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き、男女共同参画の視点をもって情報発信に努める。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	1	男女共同参画意識の形成		
主な取組	4	市民に対する多様な媒体・機会を通じての男女共同参画に係る広報・啓発		
取組の具体的内容	市民意識調査や調査研究を行い、その結果を事業に反映します			
担当室課	人権政策室		計画推進の指標番号	20・21・22
目標	項目		数値等	
	男女共同参画に関する市民意識調査・実態調査の実施		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における前年度からの増減理由				
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 男女共同参画プランの計画期間の中間年度に実施するため、令和5年度は不実施(次回は令和6年度に実施予定)			
	(取組の効果と課題)			
取組に対する事業の評価	—	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	市民意識を適切に把握し、今後の施策を推進するための基礎資料とできるよう調査項目の精査を行う。 郵送回答とWeb回答を併用することにより、回収率の向上を図る。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	1	男女共同参画意識の形成		
主な取組	4	市民に対する多様な媒体・機会を通じての男女共同参画に係る広報・啓発		
取組の具体的内容	市民意識調査や調査研究を行い、その結果を事業に反映します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	20・21・22
目標	項目		数値等	
	調査研究の実施(隔年で報告書を作成)		隔年発行	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	500部発行	テーマ:デートDV予防啓発 出前授業	—	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 令和6年度の報告書発行に向け、「デートDV予防啓発出前授業」をテーマに、10年間の事業の実績のとりまとめを進めた。			
	(取組の効果と課題) 調査研究結果を踏まえ、次年度以降の事業実施に生かす。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も男女共同参画に関わる様々なテーマについて調査研究し、事業実施に生かしていく。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	1	男女共同参画意識の形成		
主な取組	4	市民に対する多様な媒体・機会を通じての男女共同参画に係る広報・啓発		
取組の具体的内容	男女共同参画意識の形成に資する図書・資料等を収集し、市民に貸し出します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	20・21・22
目標	項目		数値等	
	図書貸出冊数		2,500冊	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	3,491冊	2,763冊	－	－
実績値における 前年度からの増減理由	長期休暇がある月における貸出率が前年の5～6割程度になっているため。			
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 情報ライブラリー便り「Duo Library」を毎月発行し、窓口での配布やホームページへの掲載によって、新着図書の内容紹介を行った。また、情報ライブラリースタッフと協力し、図書紹介POP等を作成した。			
	(取組の効果と課題) 情報ライブラリー自体の認知度を上げるため、SNS等を活用した広報を強化する。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	情報ライブラリーの認知度を上げるため、SNS等を活用した広報を強化する。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	1	男女共同参画意識の形成		
主な取組	4	市民に対する多様な媒体・機会を通じての男女共同参画に係る広報・啓発		
取組の具体的内容	男女共同参画意識の形成に資する図書・資料等を収集し、市民に貸し出します			
担当室課	学校教育室		計画推進の指標番号	20・21・22
目標	項目		数値等	
	関連視聴覚教材貸出		小中学校で2本	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2本	1本	－	－
実績値における前年度からの増減理由	当該取組に関する教材が十分に保有できていないため。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 人権に関するビデオ・DVD 等視聴覚教材を市立小・中学校及び幼稚園へ貸出し、当該教材の視聴を通じて人権学習の推進を支援した。			
	(取組の効果と課題) 視聴覚教材は各校から活用するニーズも多く、また視覚的に子供たちの心に残りやすく、人権学習をより充実させることに活用できました。すべての教育活動を人権教育の視点に立って進め、多様な価値観を認め、互いの人権を尊重する態度を養うことができた。しかし、ジェンダーに関する貸出教材が少なく、全校に十分に周知を図れていないことが課題である。			
取組に対する事業の評価	C	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	貸出用視聴覚教材の充実を図る。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	1	男女共同参画意識の形成		
主な取組	4	市民に対する多様な媒体・機会を通じての男女共同参画に係る広報・啓発		
取組の具体的内容	男女共同参画意識の形成に資する図書・資料等を収集し、市民に貸し出します			
担当室課	中央図書館		計画推進の指標番号	20・21・22
目標	項目		数値等	
	個人貸出総計(電子書籍を含む) 人口×12冊		4,574,856冊	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	3,848,694冊	3,892,520冊	－	－
実績値における 前年度からの増減理由	江坂図書館のリニューアル開館等により個人貸出数は増加したものの、目標達成に至らなかった。			
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 男女参画に関するテーマの資料の収集を行うとともに、適宜、資料の特設コーナーの設置など、資料紹介を実施した。			
	(取組の効果と課題) 他部署と行政課題を共有し、資料案内等が他部署と連携した取組となるよう、広報を工夫していく必要がある。			
取組に対する 事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き、男女参画に関するテーマに留意した資料の選定・収集を行い、適宜、特集コーナーを設置するなどして、資料案内を行い、市民の学習 機会の提供に努める。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	2	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
主な取組	1	学校、保育所・幼稚園等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
取組の具体的内容	学校等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進を年間計画の中で位置づけ、実施します			
担当室課	保育幼稚園室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	男女平等教育を含む人権教育の推進		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 男女平等を含む、人権教育を年間計画に位置づけ実施した。			
	(取組の効果と課題) ジェンダーにとらわれない視点に立ち、保育計画を立て実施した。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き、男女平等教育を含む人権教育の推進を年間計画の中に位置づける。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	2	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
主な取組	1	学校、保育所・幼稚園等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
取組の具体的内容	学校等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進を年間計画の中で位置づけ、実施します			
担当室課	学校教育室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の実施校		(全小中学校)54校	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	54校	54校	—	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 各校にて人権教育推進計画を作成し、当該計画に男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進を位置付け、児童・生徒及び教職員に周知を図った。			
	(取組の効果と課題) 各校の人権教育計画の充実を図るため、人権教育担当者会において各校の取組を共有した。 今後は、各校の好事例を広げていく取組みも必要である。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も継続して実施していく。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	2	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
主な取組	1	学校、保育所・幼稚園等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
取組の具体的内容	性別にとらわれず、子供が持つ個性を尊重した教育・保育に取り組みます			
担当室課	保育幼稚園室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	ジェンダーにとらわれない保育内容の計画・実施		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における前年度からの増減理由				
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 性別を意識したりとらわれたりせず、子供のもちあじを尊重した教育・保育に取り組んだ。			
	(取組の効果と課題) 子供達は、性別にとらわれず多様な人達に親しみをもちかわることができる。 保育教諭についても、ジェンダーにとらわれない視点を持ち、教育・保育に取り組んでいる。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、ジェンダーにとらわれない視点を持ち、保育内容を計画し実施する。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	2	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
主な取組	1	学校、保育所・幼稚園等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
取組の具体的内容	性別にとらわれず、子供が持つ個性を尊重した教育・保育に取り組みます			
担当室課	学校教育室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	性別にとらわれず、子供が持つ個性を尊重した教育の実施校		(全小中学校)54校	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	54校	54校	－	－
実績値における前年度からの増減理由				
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 小・中学校において、保健の授業を通して、自他を大切にすることを育むことや、性情報に対する適切な対処等に関する保健の授業を行った。さらに、中学校においては、インターネット上の性情報の適切な対処や、DVIについての理解を深める取組も行った。			
	(取組の効果と課題) 各校において学習指導要領に則り、保健の授業を中心として学校の教育活動全体で取組を行った。外部講師を招聘し、講習会等を充実させるとともに未然防止の観点から、インターネット・SNS等にかかる事案の現状と傾向について関係機関との一層の情報共有を図る必要がある。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も継続して取組んでいく。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	2	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
主な取組	1	学校、保育所・幼稚園等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
取組の具体的内容	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進のため、教職員・保育士、教育相談員等専門職への研修の充実を図ります			
担当室課	保育幼稚園室		計画推進の指標番号	24
目標	項目		数値等	
	男女共同参画、ジェンダー平等に係る研修の充実		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 男女共同参画・ジェンダー平等について、保育教諭等が共通理解ができるように、性教育や人権に関する研修を企画・実施した。			
	(取組の効果と課題) 人権教育に対して、保育教諭等の意識を高めることができた。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	子供達が性別にとらわれず、一人ひとりのもちあじや力を発揮できるような教育・保育を計画していく。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	2	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
主な取組	1	学校、保育所・幼稚園等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
取組の具体的内容	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進のため、教職員・保育士、教育相談員等専門職への研修の充実を図ります			
担当室課	学校教育室		計画推進の指標番号	24
目標	項目		数値等	
	人権教育担当者会、初任者研修		2回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2回	2回	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 人権教育担当者会や初任者研修において、男女共同参画・ジェンダー平等に関する理解の促進を図る研修を行った。			
	(取組の効果と課題) 人権教育担当者会や初任者研修において、男女共同参画・ジェンダー平等に関する理解の促進を図った。今後も各校の研修において、男女共同参画・ジェンダー平等に関する理解の促進を図る必要がある。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も継続して実施していく。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	2	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
主な取組	1	学校、保育所・幼稚園等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
取組の具体的内容	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進のため、教職員・保育士、教育相談員等専門職への研修の充実を図ります			
担当室課	教育センター		計画推進の指標番号	24
目標	項目		数値等	
	研修内容に対する肯定的評価率		(とても良い、良い) 100%	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	96.5%	99.5%	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 男女共同参画・ジェンダー平等に係る研修をキャリアステージに応じて実施した。			
	(取組の効果と課題) 男女共同参画・ジェンダー平等にむけた社会的課題を把握する視点をもつだけでなく、実現するためにどのようなことができるのかを考えていく必要がある。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	アンケートの回答内容等を踏まえ、研修内容の精査を図る。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	2	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
主な取組	1	学校、保育所・幼稚園等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
取組の具体的内容	ジェンダーの視点から保育士等向け手引書を作成します			
担当室課	保育幼稚園室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	ジェンダーの視点から保育士等向けの手引書を作成する		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 子供の人権や平等に係る研修等の実施したが、保育士等向けの手引書の作成はできなかった。			
	(取組の効果と課題) 保育士等はジェンダー平等に係る考えを持ち、教育・保育を行っている。それらを手引書にまとめていくことで、よりジェンダー平等を意識した教育・保育を目指していくことが必要。			
取組に対する 事業の評価	C	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	研修等で学び、わかりやすい手引書を作成する。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり			
基本課題	2	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進			
主な取組	1	学校、保育所・幼稚園等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進			
取組の具体的内容	図書・教材等をジェンダーの視点で見直します				
担当室課	保育幼稚園室			計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等		
	ジェンダーにとらわれない視点での教材選択		設定なし		
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	—	—	—	—	
実績値における 前年度からの増減理由					
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) ジェンダーにとらわれない視点に立ち、教材・絵本・玩具などを選定した。				
	(取組の効果と課題) ジェンダーにとらわれない視点に立ち、教材・絵本・玩具などを選定することへの意識が高まり、保護者にも伝えることができた。				
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である			
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き、ジェンダーにとらわれない視点に立ち、各園で教材・絵本・玩具や保護者向けの通知等を選定する。				

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり			
基本課題	2	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進			
主な取組	1	学校、保育所・幼稚園等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進			
取組の具体的内容	図書・教材等をジェンダーの視点で見直します				
担当室課	学校教育室			計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等		
	該当する取組なし				
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	—	—	—	—	
実績値における 前年度からの増減理由					
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 当室において、図書・教材等をジェンダーの視点で見直す業務がないため、実施していません。				
	(取組の効果と課題)				
取組に対する 事業の評価		A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である			
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)					

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり			
基本課題	2	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進			
主な取組	1	学校、保育所・幼稚園等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進			
取組の具体的内容	スクール・セクシュアル・ハラスメント防止に向けた子供に対する教育・相談体制の充実を図ります				
担当室課	学校教育室			計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等		
	相談窓口がある小・中学校数		全小・中学校数		
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	54校	54校	－	－	
実績値における前年度からの増減理由					
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 全校において、スクール・セクシュアル・ハラスメント防止に向けて、子供に対する相談窓口を設けた。				
	(取組の効果と課題) 全校において、子供に対する相談窓口を設けることで、子供が安心して学校生活を送ることができた。学校以外の相談窓口について、引き続き丁寧な周知を行うことが子供にとって、さらに安心して学校生活を行うために必要である。				
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である			
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も継続して取組んでいく。				

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり			
基本課題	2	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進			
主な取組	1	学校、保育所・幼稚園等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進			
取組の具体的内容	スクール・セクシュアル・ハラスメント防止に向けた子供に対する教育・相談体制の充実を図ります				
担当室課	教育センター			計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等		
	市内保育所・幼稚園 市立小・中学校への 教育相談チラシの配布率		100%		
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	100.0%	100.0%	－	－	
実績値における 前年度からの増減理由					
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 市内保育所・幼稚園、市立小・中学校への教育相談チラシの配布。				
	(取組の効果と課題) 教育センターの事業である教育相談について周知することができている。				
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である			
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も継続してチラシの配布を進めていく。				

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	2	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
主な取組	1	学校、保育所・幼稚園等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
取組の具体的内容	各校の実践交流を深め、小中一貫した男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育に取り組みます			
担当室課	学校教育室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	人権教育担当者会		2回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2回	2回	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 様々な人権課題について、人権教育担当者や新規採用教職員をはじめ、全ての教職員が豊かな人権感覚を持って児童・生徒の指導に当たることができるように、人権教育担当者会(学校教育室所管)及び教育課題研修(教育センター所管)との共同で、外部講師を招聘し、「子どもの心の受け止め方」をテーマとしたオンデマンド研修を実施した。また、各学校での教育活動については、各学校の人権課題の実践などの具体的な取組についての成果と課題を担当者会で中学校ブロックごとに共有することを取組んだ。			
	(取組の効果と課題) 人権教育担当者会を年4回行い、様々な人権課題について学び、各校の取組を共有することにより、人権教育の推進につなげることができた。また、各校において人権教育計画に基づき、計画的に取り組むことができた。現在の教育課題(いじめ、不登校、性的マイノリティーなど)に対して個別の人権課題に応じた取組ができるよう、引き続き、初任者研修や人権教育担当者会及び教育課題別研修(人権教育)において、実践的な研修を実施し、教科横断的な人権教育を更に推進していかなければならない。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も継続して取組んでいく。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	2	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
主な取組	2	男女共同参画のための生涯学習の推進		
取組の具体的内容	男女共同参画のための生涯学習を推進するため、講座、情報提供、学習機会の充実を図るとともに、新しい生活様式に対応したオンライン講座を実施します			
担当室課	まなびの支援課		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	生涯学習事業における講座等の充実を図る		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－
実績値における前年度からの増減理由				
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 生涯学習事業における講座の広報にSNSを用いるなど情報提供の充実を図った。 子育て世代の男性及び夫婦を対象とした育児に関する会場開催の講座を3回実施した。 実践を伴う講座であったため、オンラインでは実施せず会場での開催のみで実施した。			
	(取組の効果と課題) 広報にSNSを用いたことで申込者数が増加した。			
取組に対する事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	実施方法や内容について、受講者からの意見等を参考に検討する。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	2	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
主な取組	2	男女共同参画のための生涯学習の推進		
取組の具体的内容	男女共同参画のための生涯学習を推進するため、講座、情報提供、学習機会の充実を図るとともに、新しい生活様式に対応したオンライン講座を実施します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	主催講座開催数 (学校等への出前講座及び参画スタッフ研修を除く)		35講座	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	42講座	37講座	－	－
実績値における 前年度からの増減理由	令和4年度は前年に新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できなかった講座を実施したこと、また、在宅ワーク講座を対象を変えて2回実施したことなどから講座数が増えており、令和5年度はその分減少している。			
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 女性向け、男性向け、子育て層向けなど様々な層に向けて講座を実施した。育休中の人向けの講座は、オンラインで開催するなど、内容に応じて開催形態を検討した。			
	(取組の効果と課題) 子育て層向けの講座はSNSでの情報発信を行うことで、受講者が集まりやすいが、それ以外の講座は周知の方法を見直す必要がある。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	講座内容に応じた周知方法を検討する。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	2	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
主な取組	2	男女共同参画のための生涯学習の推進		
取組の具体的内容	夢つながり未来館等における調理イベントや野外活動、親子で参加する交流活動等を通じて、子供たちの男女共同参画意識の形成を図ります			
担当室課	青少年室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	自然体験活動や各種イベントを通じて、男女共同参画に関する認識と理解を深める		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	3施設(夢つながり未来館、自然体験交流センター、自然の家)の利用者数 408,141人	3施設(夢つながり未来館、自然体験交流センター、自然の家)の利用者数 423,252人	－	－
実績値における前年度からの増減理由	施設利用者増加理由は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したため。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 青少年が男女の区別なく協力して創作できる環境を整え、宿泊施設では自然に触れながら男女の区別なく炊事活動や野外活動を行う場を提供した。			
	(取組の効果と課題) 夢つながり未来館等における事業は、炊事活動や野外活動等を通じて、男女が共に対等な存在であるという意識形成につながるものと考えている。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、各施設において、男女共同参画に関する認識と理解を深めるための啓発活動を行い、次代を担う子供たちの男女共同参画意識形成につながる事業展開を行う。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	2	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
主な取組	2	男女共同参画のための生涯学習の推進		
取組の具体的内容	夢つながり未来館等における調理イベントや野外活動、親子で参加する交流活動等を通じて、子供たちの男女共同参画意識の形成を図ります			
担当室課	青少年クリエイティブセンター		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	各教室の募集定員		80%	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	・親子ふれあい体操 … 152% ・親子でダンス …………… 100% ・おんぷkids …………… 95.5%	・親子ふれあい体操 … 183% ・親子でダンス …………… 134% ・おんぷkids …………… 88.5%	—	—
実績値における前年度からの増減理由	より興味が湧く内容、参加しやすい日時等、開催事業を見直すことで増加に繋がった。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 親子交流を図る事業への関心が高く、利用者のニーズに応えるような事業を実施した。 今後の事業に向けて、保護者を対象にアンケートを実施している。			
	(取組の効果と課題) アンケートに開催時刻を変更してほしいとの要望があり、時刻を変更したことで申込者が増加した。 幼稚園入学前のプレ幼稚園体験との関係で、2歳児の事業への参加が減少している。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	アンケートの結果を参考に、内容等の充実をはじめ、利用者のニーズに応える事業を展開していく。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	2	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
主な取組	3	男女共同参画の視点からのメディア・リテラシーの育成		
取組の具体的内容	男女共同参画の視点からのメディア・リテラシー(メディアからの情報を主体的に読み解き、自己発信する能力)を高める学習機会を提供します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	対象講座延べ受講者数		260人	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	293人	243人	－	－
実績値における前年度からの増減理由	令和4年度は、例年開催している定員50人規模の行事において、女性活躍をテーマにした映画の上映会を実施したため、この取組項目に該当する講座の受講者数が一時的に増えており、令和5年度はその分減少している。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 映画を通して学習の機会を提供した。また、男女共同参画センターで活動する市民スタッフの養成講座を実施した。			
	(取組の効果と課題) 上映会は好評で抽選になることが多いが、60代以上の参加者が多いので、若年層への啓発方法を考えていく必要がある。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	若年層にも来てもらえるような作品の上映を考える。また、対象者に届く情報発信を行う。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	2	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
主な取組	3	男女共同参画の視点からのメディア・リテラシーの育成		
取組の具体的内容	男女共同参画の視点からのメディア・リテラシー(メディアからの情報を主体的に読み解き、自己発信する能力)を高める学習機会を提供します			
担当室課	中央図書館		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	個人貸出総計(電子書籍を含む) 人口×12冊		4,574,856冊	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	3,848,694冊	3,892,520冊	－	－
実績値における 前年度からの増減理由	江坂図書館のリニューアル開館等により個人貸出数は増加したものの、目標達成に至らなかった。			
令和5年度の 取組状況	(取組の実施状況) 男女参画に関するテーマの資料の収集を行うとともに、適宜、資料の特設コーナーの設置など、資料紹介を実施した。			
	(取組の効果と課題) 他部署と行政課題を共有し、資料案内等が他部署と連携した取組となるよう、広報を工夫していく必要がある。			
取組に対する 事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き、男女参画に関するテーマに留意した資料の選定・収集を行い、適宜、特集コーナーを設置するなどして、資料案内を行い、市民の学習 機会の提供に努める。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	2	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
主な取組	3	男女共同参画の視点からのメディア・リテラシーの育成		
取組の具体的内容	学校などにおいて、インターネットをはじめ様々なメディアにおける固定的性別役割分担意識に基づく表現や、性・暴力表現など女性の人権を侵害する情報に対して、主体的に対応できるメディア・リテラシーを育むためのデジタル・シティズンシップ教育を推進します			
担当室課	教育センター		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	小学校1年生から中学校3年生までの各学年におけるデジタル・シティズンシップ教育の教材の作成率		100%	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	100.0%	100.0%	－	－
実績値における前年度からの増減理由				
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 小学校1年生から中学校3年生までの各学年におけるデジタル・シティズンシップ教育の教材を作成し、各校の実情に合わせて授業を行えるようにした。			
	(取組の効果と課題) 児童・生徒に対して授業を行うだけでなく、保護者への周知もさらに行い家庭と連携しながら、主体的に対応できるメディアリテラシーを育む必要がある。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も小学校1年生から中学校3年生までの各学年におけるデジタル・シティズンシップ教育の教材を作成し各校の実情に合わせて授業を行えるようするとともに、各校での実践等について保護者への発信を行っていく。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	3	国際的な協調とジェンダー平等の視点に立った多文化共生の推進		
主な取組	1	ジェンダー平等に関連する国際規範・基準についての情報提供		
取組の具体的内容	ジェンダー・ギャップ指数などの国際比較データやSDGsに関する情報提供、講座を実施します			
担当室課	人権政策室		計画推進の指標番号	25・26
目標	項目		数値等	
	ジェンダー・ギャップ指数に関する情報の発信		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における前年度からの増減理由				
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) ジェンダー・ギャップ指数や女性の活躍推進に関する情報をホームページに掲載し情報提供を行うとともに、新規採用職員研修や事業者向け出前講座でジェンダー・ギャップ指数に関する講義を行い、日本の現状と課題、あらゆる分野における女性の参画の重要性について啓発を行った。ポスターや冊子にジェンダー平等に関連するゴールのロゴを表示することにより、SDGsの普及啓発に努めた。			
	(取組の効果と課題) ジェンダーギャップに関する日本の現状について理解を深めることができた。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後もあらゆる機会を捉えて情報発信を行い、ジェンダー平等に関する啓発に努める。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	3	国際的な協調とジェンダー平等の視点に立った多文化共生の推進		
主な取組	1	ジェンダー平等に関連する国際規範・基準についての情報提供		
取組の具体的内容	ジェンダー・ギャップ指数などの国際比較データやSDGsに関する情報提供、講座を実施します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	25・26
目標	項目		数値等	
	対象講座開催数		3講座	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	3講座	3講座	－	－
実績値における前年度からの増減理由				
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 参画スタッフ(市民ボランティア)養成講座の中で、ジェンダー・ギャップ指数などの国際比較データを用いながら男女共同参画への理解を深める時間を設けた。			
	(取組の効果と課題) メインテーマにならない場合でも、講座の中で伝えていく。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、男女共同参画について考える機会を提供する。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	3	国際的な協調とジェンダー平等の視点に立った多文化共生の推進		
主な取組	2	外国人家庭に対する子育てなどの支援		
取組の具体的内容	子育て中の外国人を支援するため、交流や情報交換の場を提供します			
担当室課	文化スポーツ推進室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	子育て支援「こあらくらぶ」の延べ参加者数		100人	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	142人	79人	－	－
実績値における前年度からの増減理由	新型コロナウイルス感染症対策の緩和や、日本人親子の参加を可能にしたことにより、令和4年度から参加者数が増加している。令和4年度に定期的に参加されていた方が保育園の入園等により参加されなくなったことから、令和5年度については減少している。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) ・外国籍市民等が日本での子育ての不安を和らげられるよう、お互いに共感したり、情報共有ができる交流の場を作った。 ・事業の整理に伴い、令和5年度から補助事業から委託事業に見直した。そのため、市の事業として市HPでの周知を行った。 ・保健センターにおいて、必要な方(妊婦、新生児フォロー対象者等)へ案内している。			
	(取組の効果と課題) 外国籍市民等が地域で安心して子育てできる環境が作られている。			
取組に対する事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後さらに広報を強化していく。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	3	国際的な協調とジェンダー平等の視点に立った多文化共生の推進		
主な取組	2	外国人家庭に対する子育てなどの支援		
取組の具体的内容	日本語指導が必要な児童生徒の学習を支援するため、通訳者を派遣します			
担当室課	学校教育室		計画推進の指標番号	27
目標	項目		数値等	
	児童・生徒への通訳者派遣回数		対象の児童・生徒数に応じて、基準回数分の通訳者の派遣回数	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	541回	604回	－	－
実績値における前年度からの増減理由	通訳を必要とする帰国・渡日の児童生徒が増加しているため。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 帰国・渡日間もない日本語指導が必要な児童生徒に対し、母語通訳者を派遣し、日本語指導が必要な児童生徒の学習活動の支援に取組んだ。また、対象児童・生徒の保護者が通訳が必要な場合においても、行政通訳ボランティアを活用し、保護者に対しても通訳者を派遣を行った。			
	(取組の効果と課題) 児童・生徒の学校生活において、効果的に通訳者を派遣し、対象児童・生徒の学習や学校生活を支援することができた。一方で、通訳を必要とする帰国・渡日の児童・生徒の増加や多様化する母国語に対し、通訳者の人材確保が困難となっている。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も継続して取組んでいく。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	4	男女共同参画推進体制の充実		
主な取組	1	市民団体等との協働・連携		
取組の具体的内容	市民団体などの活動や交流を支援し、連携して男女共同参画社会の実現を目指します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	市民グループ等との連携数		8回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	8回	9回	－	－
実績値における前年度からの増減理由				
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 男女共同参画センターグループの会(センターで活動する団体等の交流と親睦を図り、より良いセンターになるように活動する会)と会議を6回開催し、共催行事を1回実施した。また、市民グループ等を対象に自主企画講座を募集したところ、3団体から応募があり、2団体を支援して市民向け講座を開催した。			
	(取組の効果と課題) センター主催講座とは異なる特色を持った講座を開催することができた。また、通常とは異なる受講者層に啓発することができた。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	より多くの市民グループ等に自主企画支援事業を活用してもらえるように広報していく。支援内容の見直しも行う。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	4	男女共同参画推進体制の充実		
主な取組	2	男女共同参画センターの機能の充実		
取組の具体的内容	男女共同参画を推進する拠点施設として、男女共同参画に関する情報提供、調査研究、主催講座、相談事業の充実を図ります			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	28
目標	項目		数値等	
	相談実施日数		320日	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	324日	325日	－	－
実績値における前年度からの増減理由				
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 女性のための電話相談を193日、女性のための悩み・DV相談を96日、女性のための法律相談を12日、男性のための電話相談を24日実施した(計325日)。そのほか、主催講座の開催や、市民と協同して制作する啓発誌ソフィアの発行など、様々な事業に取り組んだ。			
	(取組の効果と課題) 様々な世代の人に利用してもらえるよう広報に工夫をする。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	相談や主催講座に来られた人も含め、センターの様々な事業について市民に知ってもらう機会を作り、男女共同参画についての理解を促進する。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	4	男女共同参画推進体制の充実		
主な取組	3	男女共同参画センターの利用の促進		
取組の具体的内容	男女共同参画センターに関する情報(主催講座、相談事業、情報ライブラリーなど)について、市報、啓発誌ソフィア、SNSなどを通じた発信を強化し、市民による認知および利用の一層の促進を図ります			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	28
目標	項目		数値等	
	施設の利用人数		60,000人	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	46,869人	51,355人	－	－
実績値における前年度からの増減理由	令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症になったことで令和4年度に比べ増加したと考えられる。			
令和5年度の取組状況	(取組の実施状況) 令和5年2月に施設予約・照会システムを導入し、ウェブ上で貸室の予約抽選を行えるようになり、利用しやすくなった。貸室事業や相談及び主催講座の実施を通じて、相互の事業の周知を図り、男女共同参画センターの利用促進を行った。主催講座については、女性向け、男性向け、子育て層向けなど様々な層に向けて講座を実施した。			
	(取組の効果と課題) 主催講座については、子育て層向けの講座はSNSでの情報発信を行うことで、受講者が集まりやすいが、それ以外の講座は周知の方法を見直す必要がある。			
取組に対する事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	男女共同参画センター自体の認知度を上げることにより、男女共同参画についての市民の理解を深めていく。			

第5次すいた男女共同参画プラン
令和5年度(2023年度)施策実施状況
―年次報告―

.....

発 行/ 令和6年(2024年)11月
吹田市 市民部 人権政策室
〒564-8550 吹田市泉町 1-3-40
TEL:06-6384-1461